

ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、經津主命ハ大字神屋字早稻冷二千二百十五番地ノ一無格社アラキ蘭神社ノ鎮座ナリシカ明細帳ニ由緒不詳トアリ

一、大綿津見神ハ大字神屋字向無格社國津神社境内社ノ鎮座ナリシカ明細帳ニ由緒不詳トアリ

一、五男三女神ハ大字神屋字下出無格社愛宕神社境内社八王子社ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ由緒不詳トアリ

一、速玉之男神ハ大字神屋字大久保二千三百五十四番地無格社熊野神社ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ由緒不詳トアリ

一、補遺

明治四年七月村社ニ定メラレ大正三年二月三重縣告示第六十七號ヲ以テ神饌幣帛料供進指定社トナレリ

一、考證

○元奈垣國津神社

〔伊水溫故〕神宮文庫本 奈垣村條

有神國津ノ社 神屋村ト兩郷跨テノ守護神ナリ

〔伊水溫故〕阿山郡圖書館本 奈垣村條

國津社 大巳貴命

村ノ氏社

〔三國地誌七十九〕名張郡 神祠

國津祠

按奈垣神屋俱ニ祭祀ニ預ル

〔伊賀國誌草稿〕

國津社

名張郡奈垣村字竹垣内ニ在リ境内二百三十五坪大巳貴命ヲ祀ル祭日十月三十一日天正ノ兵燹ニ罹リ社記傳ハラズ其詳ヲ知ルニ由ナシ明治四年七月村社ニ列ス境内末社一字

○元神屋國津神社

按本社ハ天正九年ノ伊賀亂ニ燒失ス後吉原金彌至盈其ノ子至峯カ相謀リ再建セシコト吉原氏ノ後裔上島氏ノ家系ニ見ユト云フ

○元神屋國津神社

〔伊水溫故〕阿山郡圖書館本
奈垣村條

神明宮 國津明神也

村ノ氏社

〔三國地誌〕 國津祠神屋小
邑羽根

○元神屋蘭神社

大字神屋青木淺藏五世ノ祖儀右工門天明中疫病ヲ祈禳セムガ爲メ一志
郡宇氣郷村大字抽原ナル蘭神社ヲ勸請セルモノニシテ合祀前ニハ例祭
當日各地ヨリ參拜者多カリキ

一、建築物

本殿 春日造

拜殿

瑞垣

鳥居

燈籠 七基

手水舎

參籠舎

神職住宅

一、境

内

五百二十四坪

内

二百三十五坪

國有地

二百八十九坪

民有地

附記

當社位置ハ大字奈垣ノ東端ニ在リテ南面ノ鎮座ナリ南北ハ山ヲ負ヒ東
西ハ田面ニ接ス域内ニハ檜杉ノ老樹神寂トシテ聳ヘ加フルニ各種ノ老
木梢ヲ交ヘテ風致ノ美ヲ呈シ巨巖大石境内外ニ點在シテ轉々深遠幽邃
ノ感アリ

一、氏

子

百八十二戸

大正二年十二月現在

一、祭 日

祈年祭 二月
 新嘗祭 十一月
 例祭 十一月十六日

一、寶 物

一、棟札 一枚
 一、水帳 一箱

一基本財産

大正三年三月現在

一、三重縣農工債券 額面一千六百圓
 一、田 一反八畝十七步
 一、畑 一畝二十二步
 一、宅地 一畝二十九步
 一、山林 六反七畝六步

名賀郡國津村奈垣神屋 國津神社
 (表)

く ン

言 亥 丑 卯 辰 巳 午 未 申 酉 戌 亥

大工 玄三郎 左衛門太夫
 彌七郎 左衛門二郎
 番 順 房信九郎
 お、大夫 若年預彦左衛門
 藤次郎太夫

(裏)

天正 □ 丙戌 九月八日

長二尺 巾二寸九分—二寸八分 用材杉

(表)

瓦 南無國津大明神

天正十二年
十一月吉日

神主敬白

(裏)

率

津氏祖を祭る所なり

○右ノ棟札ト全年全月全形式ニシテ天照皇太神宮、南無春日大明神、南無熊野大權現、南無大辨財天、南無八王子、南無三十番神ト書スルモノ六枚アリ、共ニ裏面ノ文字ヲ闕ク、各長二尺四分巾二寸七分—二寸六分アリ

長二尺五分 巾三寸六分五厘—三寸四分五厘 用材杉

(裏)

導師惠 遍 大工善太郎 大檀那

慶長六年 辛巳酉宿

聖主天中天迦陵頻伽聲哀愍衆生者我等今敬禮

三月十四日 月曜

職衆十三供 小工甚六 小檀那

(裏)

長二尺四寸四分 巾七寸六分—七寸五分 用材杉

迦陵頻伽聲 大願主 大梵天王

導師妙樂寺 權大僧都慶秀

法報

△命命等諸鳥大旦那

寬永七年
庚三月廿八日

材木御奉加 御奉行 加納藤左衛門殿
藤堂和泉守御内 御横目 嶋崎太良衛門殿

應化

哀愍我等故 大願主 帝釋天王

大工式吉原安次持 時ノ大工 右工門勝助

(裏)

長三尺五分 巾六寸八分—六寸三分 用材檜
伊賀國名張郡奈垣庄惣中 敬白

(表)

法報 迦陵頻伽聲 大願主 大梵天王

△命々等諸鳥 大旦那

應化 哀愍我等故 本願主 帝釋天王

神屋村觀音院

導師 法印 權大僧都 良盛

寛文三癸卯季九月十五日

大工 藤原時之 大工 中村六兵衛

三五〇

(裏)

伊賀國名張郡神屋奈垣兩村惣中敬白

大工持是迄者吉原殿仁而御座候衛共
今度吉原兵衛殿ニ御理申候工者大工持義者
永代兩村ニ被下後向者大工持無御座候

長三尺四寸四分 巾六寸九分—六寸五分 用材釋

○元祿十六年九月廿四日、享保九年卯月九日ノモノ之ト大同小異ナリ

法報

迦陵頻伽聲 大願主 大梵天王

△奉南無國津大明神命等諸鳥大旦那

ン感化

哀愍我等故 本願主 帝釋天王

藥師寺

導師 法印 權大僧都 快秀

天和三癸亥年三月十四日

大工 藤原時之 大工 財良村金七

長二尺六寸二分 巾九寸 用材釋

○裏面寄進目錄等虫食不明ノ部分アリ、之ヲ略ス

(表)

丸

聖主 天中天 迦陵頻伽聲

大梵天王 大檀那

瓦

奉遷宮國津大明神 春日大明神 天照大神 神 殿 一 宇

丸

哀愍衆生者 我等今敬禮

帝釋天王 勸進

伊賀國名張郡

奈垣御惣氏子

神屋 等海

導師 宿費

奈垣村 幸助

神屋 勘右衛門

奈垣村 平藏

神屋 新之丞

三五二

(裏)

延享二乙丑年

一切日皆善一切宿皆賀

諸佛皆威德典維漢皆斷

一圓鏡一ツ寄附松嶋久之亟

家次

以此誠實言願我成吉祥

十一月初五日
分宿

長三尺一寸四分

巾九寸——八寸六分

用材杉

○寛政六年四月ノモノ之ト同形式ナリ

(表)

聖主天中天
迦陵頻伽聲

大檀那大梵天王大檀那

昔天明元辛歲

瓦

奉遷宮伊賀名張郡奈垣兩村鎮守寶殿一字

哀愍衆生者
我等今敬禮

勸進者帝釋天王勸進

九月晦日心宿
木曜

氏子中

上妙樂寺宿貴

導師

下觀音院慶遍

大工

藤原文藏
平助
湯峯久次郎

(裏)

奈垣村庄屋
吉住彌右工門
年寄九郎兵衛
同左内

肝煎

寄進

年預

奈垣村庄屋
善傳
年寄井上重兵衛
神屋村庄屋

奈垣村
左助
彌惣治
神屋村

奈垣村
左助
彌惣治
神屋村
大工
文藏

奈垣村
九兵衛
彌兵衛
文之丞
三郎次
源治
牛四郎

長三尺五寸九分

巾七寸九分——七寸六分

用材杉

○享和元年三月七日、文政四年三月廿七日、天保十二月四月、文久元年三月ノモノ之ト同形式ナリ、但表面ノ文字文政以下ノモノ鎮守ノ下寶殿二字ナシ、天保ノモノハ伊賀名張郡ヲ國津大明神ニ作ル、文久ノモノ之ニ同ジク且鎮守ヲ惣社ニ作ル、明治以後ノモノハ之ヲ略ス

村社 國津神社

名賀郡國津村大字長瀬字申出千四百五十四番地鎮座

三五四

一、祭神

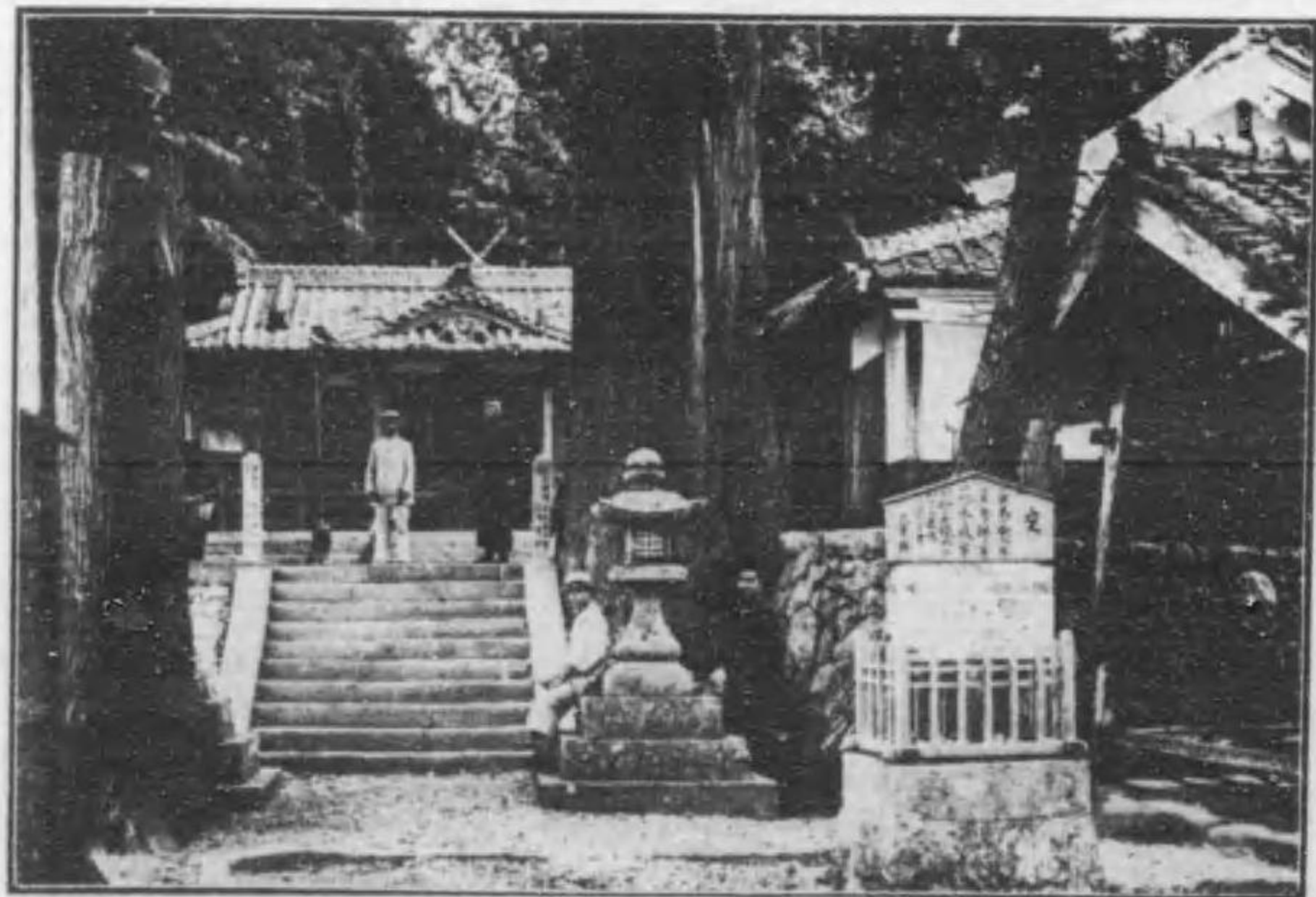
大己貴命
 建速須佐之男命
 火之迦具土之命
 五男三女命
 速玉之男命
 少彥名命
 天押雲神

一、由緒

當社ハ往古ヨリ現社地ニ鎮座マシ、國津神社ト稱シ明治四十年十月十四日許可ヲ得テ同大字内無格社津島神社、同市杵島神社、同愛宕神社、同熊野神社、同八柱神社ヲ同年十一月三日ニ合祀セリ



社神津國社村 瀬長字大村津國



社神津國社村 瀬長字大村津國

- 一、大己貴命少彥名命天押雲神ハ大字長瀬字中出村社國津神社ノ鎮座ニシテ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ
- 一、建速須佐之男命ハ大字長瀬字獅山二千五百三十六番地無格社津島神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ
- 一、火之迦具土之命ハ大字長瀬字中出千五百三十五番地無格社愛宕神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ
- 一、市杵島比賣命ハ大字長瀬字中出千六百九十九番地無格社市杵島神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ
- 一、五男三女命ハ大字長瀬字上出千三百六十六番地無格社八柱神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ
- 一、速玉之男命ハ大字長瀬字中出千五百四十九番地無格社熊野神社ノ鎮座ナリシカ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ

一、補遺

元國津神社ハ明治四年七月村社ニ定メラル

一、考 證

(伊水溫故)長瀬村條

國津神社 神靈大己貴

(三國地誌七十九)名賀郡神祠 國津祠長瀬村

村之氏社

一、建 築 物

本殿

拜殿

瑞垣

鳥居

參籠舍

社務所

燈籠九基

手水鉢石造

一、境 内

四百九十四坪

内 三百八十九坪

國有地

百五坪

民有地

附記

當社ハ本村大字長瀬ノ山麓ニ位シ東面ノ鎮座ナリ域内ノ背面ト左右ニハ老杉古檜鬱蒼トシテ雲間ニ聳ヘ雜木其間ヲ點綴シ自然ノ風致能ク神域ニ適シ覺ヘズ敬仰ノ感ヲ起サシム且並木ノ兩側ニ松杉ノ古樹連卷枝ヲ交ヘ古代ノ風姿ヲ表顯シ又本社正面ノ東端ニ一大古松周圍二丈三尺ニ餘レルモノアリ土俗此松ヲ「サガリ松」ト云蓋シ枝條ノ垂下スルヲ以テ斯クハ稱スルナラン

一、氏 子

九十二戸

大正二年十二月現在

一、祭 日

一、祈年祭

二月

一、新嘗祭

十一月

一、例祭

十一月十九日

一、寶物

棟札一枚 寛永二年ノモノ

一、基本財産

大正三年三月現在

一、勸業債券 額面參百圓

一、三重縣農工債券 額面五百圓

一、郵便貯金 六圓二十六錢

國津村長瀬 國津神社

○元國津神社ノモノ

(表)

聖主天中天

伽陵頻迦聲

寛永二乙申年

瓦

法報
△奉
應化

△奉上棟精舍一字檀那氏子各

白敬

十一月斗曜一日

時之大工 中村新衛門

哀愍衆生者

我等今慶禮

(裏)

長衛門
彌次郎大夫

○布壹端

壹石 木平

善太夫

瓦

瓦

時ノ肝煎

奉加

五斗

九斗

同壹端

同壹端

瓦

五郎大夫

布壹端

九斗

同壹端

同壹端

瓦

七右衛門

同壹端

同壹端

同壹端

同壹端

瓦

源太左衛門

同壹端

同壹端

同壹端

同壹端

長三尺三寸

巾六寸五分

用材杉

聖主天中天 迦陵頻迦聲

元祿十四辛巳年

道師 法權大僧都 慶雄

瓦

△奉上棟舍一字 大檀那大梵天王 且那氏子各

哀愍衆生者 我等今敬禮

十一月吉日

和州宇陀郡菅野村

時之大工 藤原朝臣長次郎第十二代

長三尺二寸八分

巾五寸九分

用材檜

(裏)寄進者連名省略ス

(表)

聖主天中天
迎陵頻迦聲

導師 朝日山不動寺大阿闍梨海雄

大願主梵天王 寬保元年酉年

瓦法△國津明神社頭秘文御重所命々等諸鳥大旦主名々敬白

應 哀愍衆生者 我等今敬令

本願主帝釋天王 極月二十九日

大工 黒田村吉郎兵衛貞廣

(裏)

伊州名張郡長瀬村

時之役人 横矢彦左衛門廣春

年寄 甚左衛門

同役 加平治

肝煎 太兵衛

傳 治

長三尺二寸三分 巾七寸四分 用材杉

(裏)寄進者連名省畧ス

長四尺三寸 巾一尺 用材檜

聖主天中天
迎陵頻迦聲

大願主大梵天王若宮大明神

瓦法△奉皆造宮國津大明神社頭一字敬白

應 哀愍衆生者 我等今敬禮

本願主帝釋天王八幡大菩薩

三月十三日

導師印寂岸 時之役人 吉住勇助

年寄 木平常治

肝煎 源 忠右衛門

時之上比奈知村 榮藏

大工 當村 新介

(表)

聖主天中天
迎陵頻迦聲

大願主大梵天王若宮大明神

瓦法△奉皆造宮國津大明神社頭一字敬白

應 哀愍衆生者 我等今敬禮

本願主帝釋天王八幡大菩薩

八月廿有二日

導師法印建幡 時ノ役人横矢彦左衛門 肝煎

同年寄 横矢林藏 庄屋久藏

棟梁上野一丁町宮屋助右衛門

喜源八藏

市源八藏

權市源八藏

南垣内利八

中北源治

廣瀬長八

(裏)

伊賀名張郡長瀬邑氏子中

寄進

金二百疋	吉住勇助
御簾一枚	横矢林藏
同 一枚	同彦左衛門
同 一枚	木平常治
物指壹刀	市右衛門
鏡壹面	忠兵衛妻

長四尺三寸一分 巾一尺二分 用材杉

○萬治二年三月十一日、天和二年十一月ノモノハ寛永ノモノヲ摸ス、寛文三年二月、享保五年十二月ノモノハ元祿ノモノト同式ナリ、寶曆十二年十一月二十八日ノモノハ寛保ノモノヲ摸ス、文政五年二月八日、天保十三年三月十二日、文久二年四月二日ノモノハ享和ノモノヲ摸ス、明治以後ノモノハ之ヲ畧ス

(表)

○元津島神社ノモノ

不
法報
斗 應化

迦陵頻伽聲 大願主大梵天王 導師 長瀬村不動寺大阿闍梨寛秀 施主
 △奉牛頭天王命々等諸鳥大且某甲伊弉名張郡長瀬村之守中處
 哀愍我等故 本願主帝釋天王 千時大供阿闍中村藤原：六休：次 敬白
 源兵衛家カノハツ 八月吉

(裏)

本願善佐衛門寄進

壹匁	甚太郎	五分	七藏	二分	甚太郎
鏡	譽芳	壹端布	、、	一分	宗太郎
五匁	兵右衛門	五分	甚吉	二分	助太郎
一匁	右大夫	五分	……	三分	源四郎
同	隆太郎	リケガハラ	……	二分	カウニヤハ、
一匁	喜太郎	一匁與治左衛門	……	二分	ヒロセヲウナ
六尺布	、、	一匁 權藏	……	……	……

長二尺三寸三分 四寸五分 四寸 用材杉

聖主天中天 伽陵頻伽聲 導師長瀨村不動寺法印權大僧都慶雄
 法報 癸元祿十六年
 △奉上棟精舎一字牛頭天王檀那大梵天王大旦那
 未十一月吉祥日 敬白
 哀愍衆生者 我等今敬禮
 于時大工 中村 藤原多兵衛
 長瀨村 藤原次兵衛

長二尺五寸九分 巾五寸一分 用材楡
 (裏)寄進者連名、今之ヲ畧ス

(表)

大願主大梵天主 導師 遍照院少阿闍梨家岸
 迦陵頻伽聲 法報
 奉遷宮牛頭天王本地淨妙瑠璃尊諸島大旦那伊州名張郡長瀨村守中成欽白
 應化 哀愍我等故 本願主帝尺天王 時之大工 長四郎

(裏)

寛政三次辛亥天 時之役人 同 廣清 同 廣介
 極月初二日 肝煎 同 廣長 同 廣八
 奉寄進 栗木 同 廣神 同 廣平
 今井善右衛門 同 廣磯 同 廣左衛門
 世話人 同 廣矢 同 廣平 同 廣左衛門
 同 廣左衛門 同 廣平 同 廣左衛門
 同 廣左衛門 同 廣平 同 廣左衛門
 同 廣左衛門 同 廣平 同 廣左衛門

長二尺六寸二分 巾五寸 用材杉

(表)

法報 迦陵頻伽聲 大願主梵天王
 奉上尊牛頭天王本地藥師如來諸鳥大旦那長瀨邑氏子中
 應化 哀愍我等 本願主帝尺天王

(裏)

文政土戌子歲三月十三日
 導師 蓮華寺淨如

庄屋 横矢彦左衛門
 同 大道寺彌市郎
 年寄 甚之丞
 同 源治
 時大工 常三良

肝煎 善治良
 同 甚吾
 大年預 久左衛門
 同 林左衛門
 會師 寺嶋半左衛門

長二尺二寸九分 巾六寸七分—四寸五分 用材杉

○寛文元年十一月 延寶九年九月ノモノハ寛永ノモノヲ摸ス、享保元年十二月、同十四年閏九月廿八日、元文四年霜月十日、寶曆八年十二月ノモノハ元祿ノモノト同形式ナリ、又文化五年四月十六日ノモノハ、嘉永元年四月十一日、慶應四年四月十三日ノモノハ文政ノモノヲ摸ス、明治以後ノモノハ之ヲ略ス

(表)

○元八柱神社ノモノ

斗 聖主天中天 大願主大梵天王 導師 權大僧都法印(以下朽損不明)

斗 迎陵類伽聲

斗 奉新造不動寺鎮守御本地八大文殊秘文之處 敬白

哀感衆生者 我等今敬禮 本願主帝釋天王 時之大工 源兵衛 大旦衆各(以下朽損不明)

(裏)

寄進 壹斗 惣三郎 長九郎
 壹斗 惣太郎 源右衛門
 壹斗 九左衛門 七左衛門
 壹斗 四郎左衛門 年預 助太夫 森左衛門
 長右衛門 長右衛門 夕右衛門 與左大夫
 十二月三日
 寛永八辛季 長瀬村氏人施主

長一尺一寸三分 巾三寸四分 用材杉

迎陵頻伽聲 延寶六年 奉加 權大僧都法印實季
 命々等諸鳥 哀愍我等故 導師
 王子權現社頭秘文御重座所
 大願主大梵天王 本願主帝釋 時ノ大工 中村住 藤原多兵衛
 大旦主某甲 午十二月廿一日

長二尺 巾四寸 用材杉
 (裏)奉加人連名、之ヲ畧ス

(表)

斗 斗
 報△應 聖主中天 迎陵頻伽聲 大願主大梵天王 導師不動寺現住 法印權大僧都海雄 子子
 化 奉棟上八王子大明神本地八大文殊秘文
 哀愍衆生者 我等今敬禮 本願主帝釋天王 寬延四辛未九月吉辰

(裏)

今般破風鬼板新作之 役人 忠助 小三郎 甚兵衛
 同願滿土碁石敷之 吉郎兵衛
 同地曳石垣普請成之 肝入 忠右工門 彦次郎

長二尺九寸 巾四寸二分—三寸八分 用材杉

○慶安四年十二月十日、延寶二年十二月一日、元祿五年二月十三日、實永三年十一月廿六日新造ノモノ、享保十二年九月十六日、文化八年三月十八日、嘉永六年十一月十五日上棟ノモノ、寛政十一年九月十六日、遷宮ノモノハ共ニ寛永ノモノヲ摸ス、明和八年十一月六日棟上、天明八年十一月六日新造ノモノハ寛延ノモノヲ摸ス、明治以後ノモノハ之ヲ略ス

(表)

聖主天中天

迦陵頻伽聲

社僧導師

法印權大僧都慶雄

宥圓密傳

瓦

△奉 上棟精舍一字大檀那大梵天王大旦那

哀愍衆生者 我等今敬禮

時之大工 上小波田村寺内半兵衛

十一月吉日

(裏)

瓦 瓦 瓦 瓦 瓦 瓦

庄ヤ

彦左衛門

年寄

甚左衛門

氏子各

同肝煎

嘉右衛門 助衛門

長二尺二分 巾五寸四分—四寸六分 用材杉

(表)

瓦 法 △

應 聖主天中天 迦陵頻伽聲

導師 遍照院阿闍梨海雄

時之庄屋

横矢彦左衛門

同年寄 同右市右衛門

同年寄 甚右衛門

亦井米兵衛

化 哀愍衆生者 我等今敬禮

享保十二丁未天九月十六日

時工者 小波田村

(裏)

瓦 伊 賀 長 瀨 村

肝入

利兵衛 孫九郎

長一尺八寸八分 巾三寸五分—二寸八分 用材檜

(表)

不動寺現住家山本

瓦奉造營愛宕權現本地藏尊 敬白

當村 大工 新 助

(裏)

文化五辰天四月二十六日

庄ヤ 吉住勇介
トシヨリ 木平常治
同 利三郎
肝煎 太兵衛

長一尺七寸四分 巾四寸三分—三寸六分 用材檜
○元祿五年二月十三日ノモノハ延寶ノモノヲ摸ス、同十年十一月ノモノハ正徳ノモノニ同シ、寛保四年二月廿五日ノモノハ享保ノモノヲ摸ス、享保十三年九月棟上ノモノ及ビ明治以後ノモノハ之ヲ略ス

○元熊野神社ノモノ

乳

法報 應化

△奉造立熊野權現秘文所命命等諸鳥大且主名等道師大阿闍梨(以下朽損不明)
哀愍我等故 本願主帝釋天王
寛文拾年戌十一月十二日
文 文右衛門藏

迦陵頻迦聲 大願主大梵天王

肝煎 與良 三太夫 傳兵衛
孫衛 火兵衛
時之大工 古山村 藤原清主 忠兵衛

長二尺一寸一分 巾五寸二分 用材杉
(裏)寄進者連名、省略ス

聖主天中天 迦陵頻伽聲

正徳三癸巳年

導師 法印權大僧都 慶雄

△

法報 應化

△奉上棟熊野權現御社一字 大檀那 大梵天王 且那氏子
哀愍衆生者 我等今敬禮
九月廿八日
時之大工 布生村 吉良兵衛

長一尺六寸五分 巾三寸八分—三寸一分 用材杉
(裏)寄進者連名、省略ス

(表)

聖主天中天 迦陵頻伽聲

導師 不動寺阿耨梨圓海

飛報△應

奉皆造供熊野大權現宮本地彌陀大檀那大梵天王 敬白

哀愍衆生者 我等今敬禮

安永四乙未一月二十日

(裏)

伊州名張郡長瀬郷

時之 庄屋 彦右衛門
同 年寄 田中與市
番匠工者 廣郷長八
肝 木平亥右衛門
久藏

長一尺七寸六分 巾三寸九分—三寸四分 用材杉
○元禄元年十一月廿八日ノモノハ寛文ノモノヲ摸ス、同十五年十一月、寶曆八年十二月十五日、享和二年二月廿四日ノモノハ正徳ノモノト同形ナリ、安政四年二月三日上棟、文久二年四月十日上棟ノモノハ安永ノモノヲ摸ス、明治以後ハ之ヲ略ス

(表)

○元市杵島神社ノモノ

聖主天中天 迦陵頻伽聲

大願主大梵天王

導師 權大僧都大阿闍梨實 秀

△奉新造國津若宮御本地十一面尊之處 敬白

哀愍衆生者 我等今敬禮

本願主帝釋天王

時之 大工 藤原忠六 大旦衆各人等

(裏)

元

寄進 壹斗五升善左衛門 鏡

久藏

善左衛門

壹匁

六郎 壹端

久左衛門

與次兵衛

一匁

與次兵衛 五分

少右衛門

年預

善九郎

五升

甚右衛門 一匁

太右衛門

太次兵衛

壹匁

平三郎 一斗四升

與九郎

半三郎

長瀬村民ハ施主 十二月十日

慶安 卯季

長一尺六寸二分 巾三寸七分 用材杉

聖主天中天

迦陵頻伽聲

元祿三年

法印權大僧都慶雄

瓦

奉上棟精舍一字大檀那大梵天王大旦那

庚三月朔日

哀愍衆生者

我等今敬禮

時之大工 藤原藤兵衛

長一尺七寸九分

巾四寸三分

用材杉

(裏)寄進連名、省略ス

(表)

聖主天中天
迦陵頻伽聲

大願主大梵天王

庄屋 横矢祐平

瓦

奉上棟辯財天女一字導師不動寺法印證明

哀愍衆生者
我等今敬禮

本願主帝釋天王

年寄 木平周助
同 恒右左門

(裏)

瓦

岬

嘉永六巳年十一月十六日

大工 當村 林 太

川上村 久 八

肝煎

久 治
甚 吾

長一尺六寸七分

巾三寸八分—三寸一分

用材檜

○延寶二年十二月一日ノモノハ慶安ノモノヲ摸ス、元祿十四年十一月、享保十三年九月ノモノハ共ニ元祿三年ノモノヲ摸ス、明治以後ノモノハ畧ス

○元將軍地藏權現ノモノ

三八〇

(表)

乳

應

聖主天中天

迦陵頻伽聲

道師不動寺法印海雄

乳

報△

奉棟上將軍地藏權現宮大梵天王

化

哀愍衆生者

我等今敬禮

寛保四甲子二月二十五日

(裏)

伊呂名張郡長瀬村

工者 彦太郎

役人 彦左衛門

年寄 甚左衛門

同役 加平治

肝煎

文右衛門
喜兵衛

長一尺四寸六分 巾三寸四分 二寸九分 用材杉

(表)

法 聖主天中天

迦陵頻伽聲

大梵天王大願主

謹

報乳奉 上葺將軍地藏權現大士精舎一字

伊州名張郡

長瀬邑氏子中

應 哀愍衆生者

我等今敬禮

本願主帝釋王

言

(裏)

慶應四戊辰年四月十有六日

導師不動寺第十五世證明

庄屋 横矢定之助

年寄 大矢常右工門

同 木平彦右工門

大工 當邑 助右工門

木挽 慶藏

肝煎

永岡善良

同 清助

戸帳並ミス寄附

薦壹枚寄附

年預

同 茂良

同 嘉介

横矢祐平

平カイト

與市

長一尺六分 巾三寸四分 用材檜
○寶曆八年十二月上棟、明和八年十一月廿六日造宮、文政十一年三月十六日上葺、嘉永元年四月十三日上葺ノモノハ
共ニ寛保ノモノヲ摸ス

三八一

○元若宮神社ノモノ

三八二

聖主天中天
迦陵頻伽聲

社僧導師 法印大阿闍梨海 雄

瓦

△奉上棟精舎一字大梵天王大檀那若宮

長瀬村氏子中
庄屋

彦右衛門

哀感衆生者
我等今敬禮

十一月十日 工者 當村 彦太郎
本願主梵天王本願主帝釋天王

年寄 甚右衛門
同 忠 治

長二尺五寸 巾四寸九分—三寸五分 用材楡

(裏) 肝煎 木平茂右衛門

傳次

○寶曆八年十二月ノモノハ畧ス

○元八幡神社ノモノ

聖主天中天
迦陵頻伽聲

大願主大梵天王

導師 法印權大僧都慶 雄

瓦

法報
△奉新造八幡大菩薩御社一字

正徳三癸巳年

長瀬村施主彦左門

應化

哀感衆生者
我等今敬禮

本願主帝釋天王

九月吉日

時之大工 布生村 吉良之亟

長一尺五寸六分 巾三寸七分—三寸 用材杉

斗帳 彦左衛門

(裏)

奉寄進 鏡 助之亟

鏡 市之亟

三八三

(表)

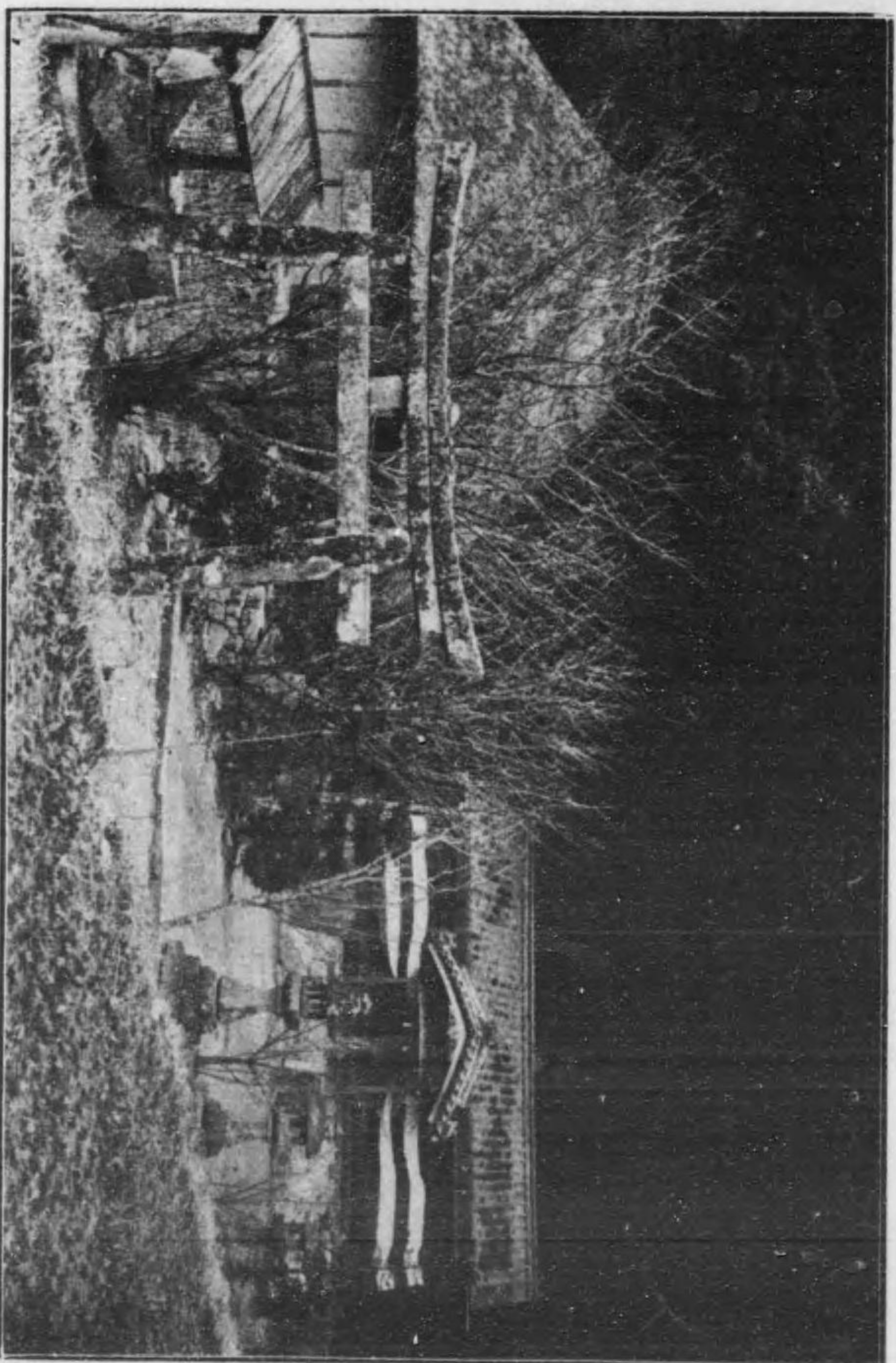
聖主天中天 迦陵頻伽聲 寛保元辛酉
 不動寺現住阿闍梨海雄
 大願主大梵天王
 法 奉棟上八幡宮精舎一字大梵天王大旦那
 應 本願主帝釋天王 大工 黒田村 吉良兵衛貞廣
 哀愍衆生者 我等今敬禮 極月十九日

(裏)

伊州名張郡長瀬村氏子中
 庄屋 彦左衛門
 年寄 甚左衛門
 同役 嘉平治
 肝煎 太兵衛
 傳 治

長一尺六寸三分 巾三寸一分—二寸九分 用材杉

○享保十三年九月、寶曆八年十二月十五日ノモノハ寛保ノモノト同形式ナリ



社 神 津 國 社 村 生布字大村津國

村社 國津神社

名賀郡國津村大字布生字黒岩千二百二十番地鎮座

一、祭神

- 大國主神
- 建速須蓋男命
- 天押雲命
- 武甕槌命
- 火之迦具土神

一、由緒

當社ハ往古ヨリ現在地ニ鎮座マシ、國津神社ト稱シ明治四十年十月九日許可ヲ得テ本社ノ境内社若宮社、同鹿島神社、同大字無格社國津神社、同境内社津島神社、無格社、愛宕神社ヲ全月二十日ニ合祀セリ

一、大國主神ハ大字布生字黒岩千二百二十番地村社國津神社ノ鎮座ニシテ「明細帳」ニ由緒不詳トアリ而シテ合祀ニ依リ同神一座ヲ合靈セシモノ

ニシテ同大字字川前二千二百八十四番地無格社國津神社ノ鎮座ナリ
シカ「明細帳」ニ由緒「不詳」トアリ

一、建速須蓋男命ハ大字布生字川前二千三百八十四番地無格社國津神社
境内社ノ鎮座ナリシカ「明細帳」ニ由緒「不詳」トアリ

一、天押雲命ハ大字布生字黒岩村社國津神社境内社若宮社ノ鎮座ナリシ
ガ「明細帳」ニ由緒「不詳」トアリ

一、武甕槌命ハ同上境内社鹿島神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ由緒「不詳」ト
アリ

一、火之迦具土神ハ大字布生字大繩手千七百六十二番地無格社愛宕神社
ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ由緒「不詳」トアリ

一、補遺

明治四年七月村社ニ列セラレ同三十九年十二月三重縣告示第三百八十
號ヲ以テ神饌幣帛料供進指定社トナレリ

一、考証

〔伊賀史〕同〇桓武天皇御宇延暦甲子伊香守令藤原垂種勸請六十六社之國津大明神於伊香一國祈豐饒國津神者外宮大神是也

〔伊水溫故〕阿山郡立圖書館寄託本

地祇大明神

同

村〇布生村

地祇ノ神ニ二儀有一儀ニ云豊受ノ宮ヲ地祇トイフ〇中日本ノ守護ト成ユ
ヘニ是ヲ國津明神トイフ一儀ニ地祇ハ大已貴命ナリ天孫瓊々杵尊此國
ニ降臨ナキ以前ノ神ハ大已貴命ニシテ日域ノ地主也依之地祇トイフ

〔伊水溫故〕神宮文庫本 布生村條 有神國津大明神

〔三國地誌七十九〕名張郡 神祠 布生村 國津祠

〔伊賀國式社考〕本國地勢山田伊賀二郡居卯酉阿拜名張者居子午以阿拜天
神社鎮國北邊以名張國津社鎮國南邊以國土中敢國社爲一宮鎮國中樞云
々

〔按〕三國地誌百十一伊賀國舊案部所載慶長十八年三月六日ノ申合書ニ
下比奈知瀧原〇以上今 比奈知村 奈垣布生〇以上今 國津村 多羅生〇今作太郎生 一志郡 神末〇奈良縣宇ノ六 陀郡御杖村
村ヲ以テ六箇山ト稱スル由見ユ六箇山ハ古クヨリ伊勢神宮ノ御領タ

リシコト「神鳳鈔」ニ

多良牟箇山五十三丁五反、御饗調備料箕藤黒葛、開三度御祭御費等、雜器料區目檢木、此外芋麻布紙等勤之

「神領給人引付」ニ

伊賀六箇山所濟三斗用途五百文所見米料貞繼神主分五百文

ナド記セルニヨリテ著ク其起原ハ皇大神穴穗ノ宮ニ坐シ、時伊賀ノ國造等ガ献レルモノナルコト「倭姫世記」ニ見エタリ、而シテ○神戸神社「光明寺舊記」ニ載スル承平四年十一月十九日伊賀國名張郡夏身郷刀禰等ノ解狀ニ依レバ當時所謂夏身郷ノ地域ハ即チ六箇山ノ地ナルニ似タリ此ノ六箇山ノ各村ニ古クヨリ國津明神ヲ奉祀スルコトハ神社分布ノ上ヨリ觀案シテ最モ注意スベキ事實ニシテ此ノ點ヨリ推シテ六箇山ガモト共同ノ祖先ヲ有スル同一氏族ナルヲ知ルベシ、國津明神ハ「伊水溫故」ニ地祇明神トモ書シテ明カニ「クニツ」ト訓ミタレド、モト六箇山ノ内ニシテ今奈良縣宇陀郡ニ屬セル神末カワゴニ祀レル國津明神ヲ慶長十九年ノ棟札ニ上之宮九頭大明神ト書シ「大和志」ニ葛明神ト記セルニヨレバ「クヅ」ト訓ムベキガ如シ棟札ニ所謂上之宮ニ對シ下之宮ト呼バルベ

一、建築物

本殿 春日造

拜殿

透塀

鳥居

手水舎

燈籠 八基

キモノ當ニ伊賀方面ニ在ラン彼ノ比奈知村下比奈知ナル國津明神即チ規定ノ名居神社ハ即チ是ニ擬セラルベキモノナルベシ

一、境 内

四百六十三坪

國有地

附地

當社ハ本村大字布生ノ中央ヨリ稍西北方ニ位シ南面ノ鎮座ナリ境内ハ樹木鬱蒼トシテ繁茂シ神嚴ヲ保チ前方ニ布生川ノ清流アリ眺望佳ナリ

一、氏 子

百十七戸

大正三年十二月現在

一、祭 日

- 一 祈年祭 二月
- 一 新嘗祭 十一月
- 一 例祭 十一月十六日

一 基本財産

- 一 三重縣農工債券 額面一千四百圓
- 一 山林 一反八畝十九步

大正三年三月現在

名賀郡國津村布生 國津神社

(表)

ニ 奉造立國津神布乃生庄人法繁昌悉地成就所

慶長拾七千七歳 藏持大工 藤原家吉甚介 二貫 源二郎 寸しハ
 奉加衆 五斗 祈屋 左衛門大夫 鳥井もりもと 井かきハ 與左衛門
 五斗 安右衛門 谷太夫 三郎太夫 五斗甚大夫
 九月廿七日 時之年用 與左衛門 神主 宮口大夫 谷太夫 三郎太夫 三郎左衛門
 四真太夫 彦二郎太夫 甚太夫 三右衛門
 與兵衛 甚右衛門

(裏)

奉加

いさきハ 四間 與兵衛 五尺布 源二郎内 一丈布 五耶内 一且布 三郎大夫内 壹斗米 與兵衛 五尺布 源八耶内
 一且布 庄屋内 半日同 新九耶内 一丈同 善右衛門内 四左衛門 五尺布 甚七耶 五尺同 源七内
 ひめ満女 八尺同 太郎生 與兵衛内 一且同 谷太夫内 五尺 甚二耶内 五尺同 又七内 六尺 お松内
 新二耶内 五尺 藤四耶内 一且同 甚太夫内 五尺 與左衛門内 一且同 勝右衛門内 八尺同 四耶太夫内 三尺同 甚七耶内
 小阪福女 五尺 與太夫内 與太夫内 一且同 勝右衛門内 三尺同 甚七耶内

長二尺 巾四寸 用材杉

斗

迎陵頻伽聲 大願主大梵天王

時之大工古山 藤原勝助

瓦

奉大日本國伊賀名張郡布生庄命命等諸島大旦主各等 導師 法印慶秀

瓦

哀愍我等故 本願主帝釋天王 森久 芳太夫 吉兵衛
 庄屋 善右衛門 彌右衛門 甚右衛門 彌左衛門 吉右衛門 布生村氏人施主
 布生才門太夫藤原氏 與兵衛 庄左衛門 吉右衛門 願主 敬白
 安左衛門 久右衛門 寛永七庚午年正月十六日

長三尺六寸七分 巾六寸 用材杉

(裏)

奉加

此宮は沼居山宮再興の處なり

(表)

迦陵頻伽聲 聖主天中天

瓦 奉上精舍一字伊賀名張郡布生村大且主大梵天王

哀愍衆生者 我等今敬禮

時ノ大工 明曆二年
九右衛門
藤原朝臣 兵衛
氏人敬白
布生助右衛門 傳右衛門
布生善右衛門 嘉平次
布生平三郎
十一月吉日

(裏)

至 凡 具一切惡眠視衆生福聚海無量是故應頂禮

長二尺九寸七分 巾六寸—五寸七分 用材杉
○延寶七年三月ノモノ之ト同形式ニシテ表面奉造立云々、裏面具一切功德慈眠視衆生福聚海無量是故應頂禮、九種心藥拂外塵巡迷金剛一宮排内庫百授寶ヲ二行ニ記セリ、元祿十二年閏九月十三日ノモノハ延寶ノモノニ同シ

(表)

聖主天中天 伽陵頻伽聲 于時享保四甲亥年

瓦 奉修造精舍一字伊州名張郡布生邑國津大明神大梵天王大旦那

哀愍衆生者 我等今敬禮 十一月二十五日

時ノ大工小波田村寺内牛兵衛
葺 我山村 宇兵衛 肝煎 九兵衛
導師頼雄 安兵衛
庄屋 布生善右衛門
彌兵衛 年預 彌伊七 藤九郎
左彌兵衛 年預 源伊八 元藤九郎
平兵衛 善右衛門

(裏)

至

拾貳匆 御座 布生 善右工門
拾八匆 戸帳 左 吉
拾貳匆 壘 甚 兵 衛
拾 匆 惣 十 郎
八 匆 長左衛門
外百參拾壹名

至

長二尺三寸六分 巾五寸九分—五寸五分 用材杉
○元文二年三月十六日、寶曆二年三月廿八日、文政十二年四月廿一日ノモノ之ト同形式ナリ、但文政ノモノハ表面伊州名張郡布生邑ノ八字ヲ略ス

(表)

聖主天中天 迦陵頻伽聲

享保十一年

奉 上棟精舍 一字

大檀那大梵天王大旦那

六月吉祥日

我等今頂禮

哀愍衆生者

(裏)

右意趣者信心

奉寄進鰥口一掛願主息災延命家内安全

時ノ施主

如意満足所祈

伊弉名張郡布生村住 前川甚兵衛

長二尺七寸五分 巾六寸二分—四寸八分 用材杉

(表)

聖主天中天 迦陵頻伽聲

大旦那大梵天王

大勸進者當村惣正寺主 良慶

瓦

△奉造營國津大明神頭社二字 于時明和七年三月二十日曜日伊弉名張布生村

哀愍衆生者 我等今敬禮

大願主帝釋天王 大願主氏子村役人

庄下比奈知村吉住嘉惣太 年寄惣四郎大工 名張橋町 上平兵衛 茂郷

(裏)

迄 卯

時之年預

文右衛門 勘四良 勘九良 平七 傳治 波右衛門

世話人

彌平 宇右衛門 甚九郎 新之丞 市良兵衛 民右衛門

長二尺七寸八分 巾七寸四分—六寸 用材杉

○寛政元年四月ノモノ之ト同形式ナリ、明治以後ノモノハ之ヲ略ス

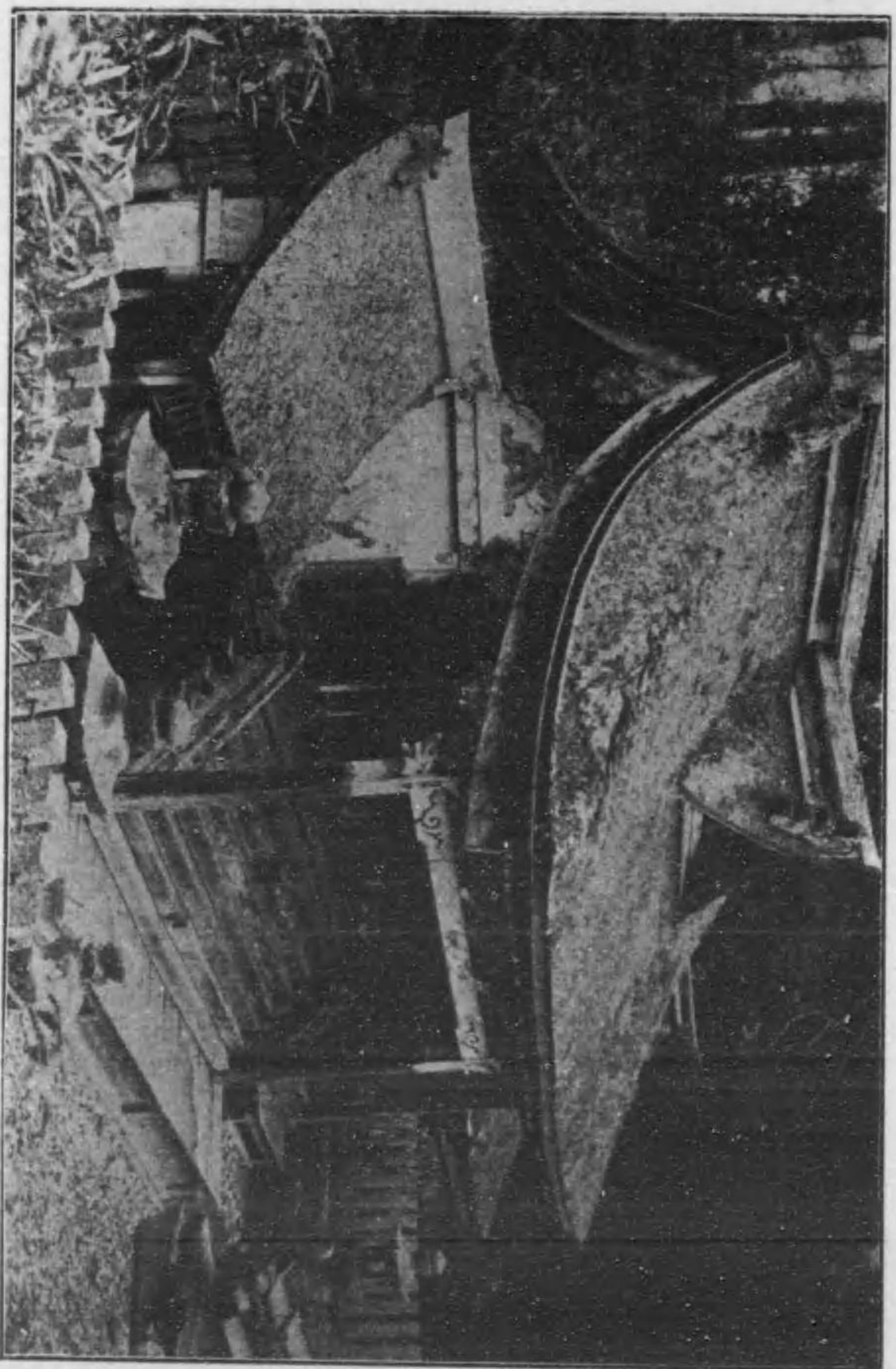
村社 種生神社

名賀郡種生村大字種生字松屋敷千二百七十六、千二百七十八番
地鎮座

三九六

一. 祭神

- 武甕槌命 タケミカフチ
- 經津主命 フツヌシ
- 天兒屋根命 アノコヤ
- 五男三女神 イハヒヨミ
- 天押雲命 アノオシクモ
- 建速須佐之男命 タケハヤスサノヲ
- 速玉男命 ハヤタマ
- 菅原道真 スガハラミチマサ
- 譽田別命 ホシタ
- 大鷦鷯命 オホササギ
- 紀友雄 キトモヲ



種生村神社 種生村神社

大日靈貴命
 火之迦具士命
 大物主神
 奥津彥命
 奥津彥命
 奥津姬命
 大綿津見神
 大山祇命
 稻田比賣命

一、由緒

當社ハ往古ヨリ現在地ニマシ、鹿島神社ト稱セシガ明治三十七年五月十九日許可ヲ得テ大字種生字番田無格社八柱神社ヲ同月二十八日ニ合祀シ次デ明治三十九年八月十日許可ヲ得テ大字種生字矢地無格社愛宕神社同境内社八幡神社字寺脇無格社菅原神社同山神社字番田同山神社字松屋敷同山神社ヲ同年十月二日合祀シ次デ明治四十年九月十七日

許可ヲ得テ本社境内社熊野神社大字種生字山立村社若宮神社同境内社
 飯綱神社字國見村社津島神社同境内社友雄神社ヲ同年十月十六日ニ合
 祀ノ上種生神社ト改稱シ次デ明治四十一年一月二十一日許可ヲ得テ大
 字高尾字古田無格社市杵島神社ヲ同年二月二十四日ニ合祀シ次デ明治
 四十一年六月十日許可ヲ得テ大字老川村社若宮神社無格社山神社矢持
 村大字腰山村社飛龍神社同境内社八柱神社同村大字諸木村社鹿島神社
 無格社愛宕神社同村大字福川村社八柱神社ヲ同年七月十八日ニ合祀シ
 次デ明治四十一年十一月七日許可ヲ得テ大字高尾村社高尾神社ヲ同月
 十一日ニ合祀セリ而シテ合祀前ニ於ケル其ノ大字種生字山立村社若宮
 神社ハ明治三十九年八月十日許可ヲ得テ同大字字川合無格社八幡神社
 二社字中田同山神社ヲ同年十月二日ニ合祀セシモノ
 其ノ大字高尾字古田無格社市杵島神社ハ明治三十九年四月二十五日許
 可ヲ得テ同字無格社愛宕神社二社同山神社ヲ同年七月二十日ニ合祀セ
 シモノ
 其ノ大字老川村社若宮神社ハ明治三十九年四月二十一日許可ヲ得テ同

大字字西谷無格社愛宕神社字向同熊野神社字長谷同水神社字西谷同山
 神社二社字向同津島神社同山神社ヲ同年七月四日ニ合祀セシモノ
 其ノ矢持村大字腰山村社飛龍神社ハ明治三十九年三月三十日許可ヲ得
 テ同大字字津々串無格社山神社字東谷同山神社字上出同山神社二社ヲ
 同年四月二十一日ニ合祀セシモノ
 其ノ矢持村大字諸木村社鹿島神社ハ明治三十九年三月十七日許可ヲ得
 テ同大字字中切無格社山神社字鳥追同山神社ヲ同年四月三十日ニ合祀
 セシモノ
 其ノ矢持村大字福川村社八柱神社ハ明治三十九年五月十七日許可ヲ得
 テ同大字字川原田無格社山神社同津島神社ヲ同年七月八日ニ合祀セシ
 モノ
 其ノ大字高尾村社高尾神社ハ元若宮八幡神社ト稱セシガ明治三十九年
 四月廿日許可ヲ得テ大字高尾字原池無格社山神社字黒淵同山神社字中
 出同山神社同愛宕神社同津島神社ヲ同年七月八日ニ合祀シ次デ字鈴又
 村社天満神社ヲ同年八月二十六日ニ合祀シ高尾神社ト改稱セシモノ又

此合祀前ニ於ケル其村社弓矢八幡神社ハ明治三十九年四月廿五日許可ヲ得テ大字高尾字出合無格社愛宕神社同津島神社同山神社二社同市杵島神社同荒神社同津島神社同山神社二社字逆柳同山神社同金刀比羅神社ヲ同年七月七日ニ合祀セシモノ

其ノ村社天満神社ハ明治三十九年四月廿五日許可ヲ得テ大字高尾字酒屋無格社津島神社同愛宕神社同山神社字上出同山神社二社同愛宕神社字津元同山神社字鈴又同山神社字奥出同山神社同愛宕神社字上出同愛宕神社字長谷同愛宕神社ヲ同年七月十九日ニ合祀セシモノナリ

以上合祀ノ結果當神社ノ氏子區域ハ種生村ノ種生高尾老川矢持村ノ腰山諸木福川ノ六大字トナレリ

一、武甕槌命經津主命天兒屋根命ハ種生村大字種生字松屋敷千二百七十八番地村社鹿島神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ由緒不詳トアリ而シテ武甕槌命ハ同神一座ヲ合靈セシモノニシテ矢持村大字諸木字中切四百四十二番地村社鹿島神社ノ鎮座祭神三座ノ中又天兒屋根命モ同神一座ヲ合靈セシモノニシテ種生村大字高尾字鈴又四千五百十四番地

村社天満神社合殿ノ鎮座ナリシガ兩社共「明細帳」ニ由緒不詳トアリ

一、五男三女神ハ同神三座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ矢持村大字福川字廣田四百七十番地村社八柱神社其ノ一ハ同村大字腰山字上出八百三十七番地村社飛龍神社境内社八柱神社其ノ一ハ種生村字番田二千五百五十八番地無格社八柱神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、天押雲命ハ同神二座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ種生村大字種生字山立五百六十八番地村社若宮神社其ノ一ハ同村大字老川字城山二百十九番地村社若宮神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、健速須佐之男命ハ同神七座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ種生村大字種生字國見二千四百五十四番地村社津島神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ創立年月不詳ナリト雖傳ヘ云兼好法師ノ勸請ニシテ寺ノ鎮座ナリシト又口碑ニ此所ニ天然造化ノ神石アリ衆人疫除ノ神ナリト稱ヘテ信仰ノ祠宇ヲ創立シテ其神石ヲ奉祀セリト舊牛頭天王ト稱セシヲ

王政復古ノ際現社號ニ改稱セリトアリ其ノ一ハ矢持村大字福川字川原田百八十番地無格社津島神社其ノ一ハ種生村大字高尾字酒屋千七百九十七番地同津島神社其ノ一ハ同大字字中出二千八百六十六番地同津島神社其ノ一ハ同大字字出合百七十二番地同津島神社其ノ一ハ同大字字床並七百六十四番地同津島神社其ノ一ハ同村大字老川字向千六百七番地同津島神社ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ六社共由緒不詳トアリ

一、速玉男命ハ同神三座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ矢持村大字腰山字上出八百三十七番地村社飛龍神社祭神二座ノ中其ノ一ハ種生村大字老川字向千五百五十七番地無格社熊野神社其ノ一ハ同村大字種生字松屋敷千二百七十八番地村社鹿島神社境内社熊野神社ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ由緒何レモ不詳トアリ
一、菅原道真ハ同神二座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ種生村大字高尾字鈴又四千五百十四番地村社天滿神社其ノ一ハ同村大字種生字寺脇千二百二十九番地無格社菅原神社ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ由緒不詳トアリ

アリ

一、譽田別命ハ同神五座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ種生村大字高尾字床並六百四十番地村社弓矢八幡神社其ノ一ハ同村大字種生字矢地千五百四十三番地愛宕神社境内社八幡神社其ノ一ハ同大字字川合八百三十六番地無格社八幡神社其ノ一ハ同七百三十二番地無格社八幡神社其ノ一ハ矢持村大字諸木字中切四百四十二番地村社鹿島神社祭神三座ノ中ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ何レモ由緒不詳トアリ
一、大鶴鶴命ハ種生村大字高尾字黒淵千七百九十四番地村社若宮八幡神社ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ由緒不詳トアリ
一、市杵島比賣命ハ同神二座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ種生村大字高尾字古田五千二百五十九番地無格社市杵島神社其ノ一ハ同大字字出合三百七十一番地無格社市杵島神社ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ何レモ由緒不詳トアリ
一、紀友雄ハ種生村大字種生字國見二千四百五十四番地津島神社境内社友雄神社ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ由緒不詳トアリ

一、大日靈貴命ハ同神三座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ矢持村大字諸木字中切四百四十二番地村社鹿島神社祭神三座ノ中其ノ一ハ同村大字腰山字上出八百三十七番地村社飛龍神社祭神二座ノ中其ノ一ハ種生村大字高尾字鈴又四千五百十四番地村社天滿神社合殿ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、火之迦具土命ハ同神十三座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ種生村大字種生字矢地千五百四十三番地無格社愛宕神社其ノ一ハ同村大字高尾字古田五千二百二十一番地無格社愛宕神社其ノ一ハ同五千六百六十六番地無格社愛宕神社其ノ一ハ同大字字中出二千八百六十五番地無格社愛宕神社其ノ一ハ同大字字酒屋三千五百六番地無格社愛宕神社其ノ一ハ同大字字上出四千四百三十一番地無格社愛宕神社其ノ一ハ同大字字奥出三千五百五十七番地無格社愛宕神社其ノ一ハ同大字字長谷四千九百二番地無格社愛宕神社其ノ一ハ同大字字上出四千四百八十三番地無格社愛宕神社其ノ一ハ同大字字出合三十四番地無格社愛宕神社其ノ一ハ同村大字老川字西谷五百二十二番地無格社愛宕神社

其ノ一ハ矢持村大字諸木字中切四百四十四番地無格社愛宕神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、大物主命ハ種生村大字高尾字逆柳千四百四十六番地無格社金刀比羅神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ由緒不詳トアリ

一、奥津彥命、奥津姫命ハ種生村大字高尾字出合二百二十二番地無格社荒神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ由緒不詳トアリ

一、大山祇命ハ同神三十座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ種生村大字種生字寺脇千二百五十二番地無格社山神社其ノ一ハ字松屋敷千二百七十七番地同山神社其ノ一ハ番田字二千五百五十五番地同山神社其ノ一ハ字中田四百五十三番地同山神社其ノ一ハ大字高尾字古田五千九百九十八番地同山神社其ノ一ハ字上出四千四百三十二番地同山神社其ノ一ハ同四千三百七十番地同山神社其ノ一ハ字津元四千五十三番地同山神社其ノ一ハ字鈴又四千五百七十五番地同山神社其ノ一ハ字奥出三千六百九十一番同山神社其ノ一ハ字床並七百十一番地同山神社其ノ一ハ字出合二百三十四番地同山神社其ノ一ハ同八十七番地同山

神社其ノ一ハ字逆柳八百九十九番地同山神社其ノ一ハ字床並八百八番地同山神社其ノ一ハ字原池千五百三十九番地同山神社其ノ一ハ字黒淵千五百六十九番地同山神社其ノ一ハ字中出二千七百四番地同山神社其ノ一ハ大字老川字向千六百二十七番地同山神社其ノ一ハ字西谷三百五十九番地同山神社其ノ一ハ同四百六十二番地同山神社其ノ一ハ字城山二百四十五番地同山神社其ノ一ハ矢持村大字腰山字津々串三百六十四番地同山神社其ノ一ハ字東谷四百九十番地同山神社其ノ一ハ字上出七百十二番地同山神社其ノ一ハ同九百五十七番地同山神社其ノ一ハ大字諸木字中切四百十番地同山神社其ノ一ハ字鳥追七百三十五番地同山神社其ノ一ハ大字福川字川原田五十七番地同山神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、稻田比賣命ハ種生村大字種生字山立五百六十八番地村社若宮神社境内社飯綱神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ

一、大綿津見神ハ種生村大字老川字長谷無格社水神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ

一、考 證

明治四年七月村社ニ定メラレ明治三十九年十二月三重縣告示第三百八十號ヲ以テ村社鹿島神社ヲ神饌幣帛供進指定社トセラレタルモ合祀改稱ノ結果明治四十一年六月三重縣告示第二百四十二號ヲ以テ種生神社ニ指定變更セラレタリ

○元種生鹿島神社及八柱神社、愛宕神社、若宮神社、津島神社、友雄神社、八幡神社

[伊水溫故]阿山郡立圖書館本

鹿島大明神

種生村

本宮白山造武雷神 神護景雲三年阿保大村社より勸請

[伊水溫故]同上

國見山草薺寺

種生村

國見山高起所にて伊賀國郡治真下依之國見と名付草薺寺は信西法師開基兼好兼好此寺にて住終今は國見山牛頭天王の宮坊と成今當禪宗 奥鹿野久昌寺下

〔伊水溫故〕神宮文庫本

鹿嶋宮

同 村〇種生

武雷命なり阿保宮より勸請

〔伊水溫故〕同上

國見山天王

同 所

牛頭天王の祠有宮坊有 古郡常福寺ノ下

〔三國地誌七十二〕伊賀郡神祠 鹿島祠香取平岡同殿本社若宮 若宮八幡祠 愛宕祠 八王子祠

牛頭天王祠 八幡祠鹿嶋以下並種生村

右二社國見山ノ麓ニ坐ス

〔天正伊賀亂記〕本種生庄國見山ハ伊賀國中目下ニ見渡シテ伊賀第一ノ勝地ナリ兼好法師ノ廟所有テ堂塔軒ヲ双ベ四宗兼學ノ道場往古鳥羽院ノ御宇山ノ井三位永頼ノ末孫越後守實兼ノ子信西上人ノ開基ニシテ藏人少輔季綱卿ノ建立ナリ此信西上人ハ〇中鳥羽院ノ御歸依ノ僧ニテ一亂ノ前ニハ勅筆ノ物モ多ク護國安養院ト御筆ヲ染メラレシ勅額モアリシトカヤ一亂ノ頃ニハ寺門榮エテ〇中鎮守牛頭天王ヲ崇奉リ殊勝ニイミジ

キ靈地ナリシガ此度ノ一亂起リテヨリ軍法評定所トナリ〇中近郷ノ住士馳集リ堂舎僧坊拜殿ニ充滿セリ〇中瀧川日置ノ兩將ハ國見山ヲ討敗リ堂舎寶殿ヲ片時ノ煙ト焼立テ名張築瀬ノ驛ニ出テ信雄卿ニ拜謁シ柏原討手ノ中ニ加ハリケル

〔伊賀國誌草稿〕

鹿島神社

伊賀郡種生村字松屋敷ニ在リ境内三百九拾四坪神護景雲二年戊申之ヲ創建ス伊賀國誌武甕雷命ヲ祭ル祭日十月廿三日社傳ニ云フ阿保大村ヨリ勸請スト永正二年乙丑二月十八日之ヲ改葺ス棟札元和三年丁巳之ヲ再建ス棟札社南長六十間横三間餘ノ競馬場ヲ設ク祭日馬ヲ場内ニ馳ス稱シテ鹿島馬祭ト云フ境内一石アリ要石ト名ツク蓋シ常陸ニ擬スルナリ村人之ヲ崇敬ス明治 年 月村社ニ列ス氏子六十五戸

津島神社

伊賀郡種生村字國見ニ在リ境内二百九拾坪創建詳ナラズ素盞鳴尊ヲ祭ル祭日七月十四日社傳ニ曰ク本社往古種生郷ノ産土神タリ鳥羽天

皇ノ時藤原信西崇奉尤モ深ク一寺ヲ建テ以テ祀典ヲ奉ゼシム天皇護
國安養院ノ勅額ヲ賜テ本州半國ノ祈願所トナス天正ノ兵亂ニ悉ク焚
燒スル所トナル寛永三年丙寅更ニ社殿ヲ一新ス明治十三年十二月十四
日村社ニ列ス境内末社一字信徒六百戸

〔接鹿島神社ハ舊種生郷ノ惣社タリシコト長享二年及其ノ以後ノ棟札
ニ種生惣社〕ト記セルニ依リテ著ク其ノ趣ノ祭典等ニ遺レルアリ而シ
テ其ノ神職ハ世々惣社ノ神職トシテ郷内多數ノ神社ヲ兼務シ來レリ、
所謂種生郷トハ種生老川川上高尾○以上今種生村霧生腰山諸木福川○以上今矢持村八
部落ノ總稱ニシテ一ニ矢持八ヶ村トモ云ヒ大字種生其ノ中心ニ位ス、
口碑ニ南朝ノ初郷人矢ヲ作リテ獻ズ天皇之ヲ嘉納セラレ勅シテ年々
之ヲ調進セシメ給フ矢持ノ郷名ハ實ニ當時賜フ所ニカ、ルト今本社
境内ニ接シテ字矢地ト稱スル所アリ種生部落ノ要部ヲ占メ四邊ノ林
間矢竹叢生セリ本社ノ東ニ境ヲ接セル常樂寺ハモト本社ノ別當寺タ
リシモノナリ舊ト宇國見ナル津島神社ハ草葺寺ノ兵燹ニ罹リテ衰頽
セル後モ猶土民ノ崇敬ヲ受ケ合祀後ノ今日ニ於テモ種生神社祭禮當

日又ハ疫病流行ノ際ニハ近郷ノ男女參拜スルモノ多シ殊ニ軍人ニ於
テ然リ其ノ境内社友雄神社ハモト正八幡宮ト稱セルヲ明治三年今號
ニ改ム祭神紀友雄ノコトハ〔太平記卷十六日本朝敵事ノ條ニ

天智天皇ノ御宇ニ藤原千方ト云者有テ金鬼風鬼水鬼隱形鬼ト云、四
ノ鬼ヲ使ヘリ金鬼ハ其身堅固ニシテ矢ヲ射ルニ立ズ風鬼ハ大風ヲ
吹セテ敵城ヲ吹破ル水鬼ハ洪水ヲ流シテ敵ヲ陸地ニ溺ス隱形鬼ハ
其ノ形ヲ隱シテ俄ニ敵ヲ拉グ如斯ノ神變凡夫ノ智力ヲ以テ可防ニ
非ザレバ伊賀伊勢ノ兩國是ガ爲ニ妨ラレテ王化ニ順フ者ナシ爰ニ
紀朝雄ト云ケル者宣旨ヲ蒙テ彼國ニ下リ一首ノ歌ヲ讀テ鬼ノ中へ
ゾ送ケル

草モ木モ我大君ノ國ナレバ、イヅクガ鬼ノ栖ナルベキ

四ノ鬼此歌ヲ見テサテハ我等惡逆無道ノ臣ニ隨テ善政有徳ノ君ヲ
背奉リケル事天罰道ル、處無リケリトテ忽ニ四方ニ去テ失ニケレ
バ千方勢ヒヲ失テ、懸テ朝雄ニ討レニケリ

ト見エ伊賀記ニ

千方將軍之事小宰記ニ見ヘタリ村上天皇ノ御宇正二位仰望シニ其
甲斐ナクテ日吉之神輿ヲ取奉ツテ當國霧生郷へ籠居紀朝雄ト云人
副將軍トナリテ討之陪從ノ法師四人山ノ注記三河坊兵庫堅者筑紫
坊ト云者ノ力大木ヲ倒シ勢巖石ヲ破ルユヘニ官軍多ク討レテ負ベ
カリシヲ六根清淨又中臣祓ヲ朝雄誦シ神功ナラヒナカリシニヤ終
ニ千方柳ノ下ニクビリ果ニキ

ト記シタレド正史實錄上ニ所見無シ

若宮神社ハモト大字種生山立小場若干戸ノ産土神八柱神社ハ小川内
小場ノ鎮守ナリ

宇寺脇ナル菅原神社ハモト天神ト稱シ其ノ社地ハ小竹志摩守ノ城址
ニシテ志摩守ノ祀ル所ナリト云フ

○元高尾市杵島神社若宮八幡神社弓矢八幡神社天滿神社

〔伊水溫故〕神宮文庫本
高尾村條

村氏神天滿天神也一郡一社の天神也と云昔の氏は社は神明也洪水に流て
今木奥の宮桶子明神是也

〔三國地誌〕

天滿祠天照神奉
日神同殿

按一郡一社の天神ナリト云

若宮八幡祠 八幡祠天照神奉
日神相殿 辨天祠並高
尾村

〔伊賀考〕神社
考

一、桶子宮木興村高尾
寺にあり元是城南高尾の惣社也洪水の時流れ來りて木興の村民
是を拾ひ上げて其まゝの名とはなれり

〔按〕口碑ニ舊産神神明宮ハ承德中ノ大洪水ニ漂流シテ今ノ阿山郡城南
村木興ニ至テ留ル依テ其ノ地ニ奉祀ス桶子神社是ナリ後長田川ノ水
源大山嶽一名首ヶ岳
又尼ヶ岳ノ麓ニ社地ヲ選ミ伊賀郡ノ鎮守神トシテ北野ヨリ天
滿宮ヲ勸請シ相殿ニ神明宮ヲ奉祀ス當時日本全國ニ天神ヲ勸請スル
モノ總テ七十五所毎年例祭ニ神前ニ餅七十五個ヲ奉ルハ此ノ七十五
社ニ供進スルノ意ナリト云フ

弓矢八幡神社ハ床並小場及ビ出合小場若干戸ノ産土神市杵島神社ハ
古田小場若干戸ノ産土神ナリ若宮八幡神社ハ中出小場及原池小場若

千戸ノ産土神ナリ

○元老川若宮神社、水神社

〔伊水溫故〕阿山郡立
圖書館本

若宮

同 村川老

神跡ハ押雲命 天兒屋根命子也 本地文殊村の氏社

〔三國地誌〕 若宮明神祠老川

〔附記〕水神社ハ早魃ノ時村民雨ヲ祈ルノ古例アリ

○元腰山飛龍神社、八柱神社

〔伊水溫故〕阿山郡立
圖書館本

熊野權現

同 村山腰

熊野本宮 伊弉諾尊 櫛樟日命 新宮速玉男 伊弉丹尊 櫛樟日も速

玉男も伊弉諾の御子なり

〔三國地誌〕 天照神祠熊野神
同殿 八王子祠並腰
山村

○元諸木鹿島神社

〔伊水溫故〕阿山郡立
圖書館本

鹿嶋大明神

同 村木諸

武雷命河度目ノ
磯長同名 阿保大村より勸請 村の氏社

〔三國地誌〕 鹿嶋祠諸木
村

〔伊賀國誌草稿〕

鹿島神社

伊賀郡諸木村字中切ニ在リ境内千七百三十六坪武甕槌命ヲ祀リ大日
靈貴尊及ヒ譽田別尊ヲ相殿トナス祭日十月廿一日社傳ニ云フ神護景
雲二年戊申常陸國鹿島神社ヲ勸請スト永正六年己巳十一月六日之ヲ再建ス
札棟後世ニ及デ藤堂氏社地若干ヲ寄付ス近村ノ大社タリ明治四年村社
ニ列ス氏子四十一戸

○元福川八柱神社

〔三國地誌〕 八王子祠福川
村

一、建築物

本殿 流造

- 東寶殿
- 西寶殿
- 拜殿
- 瑞垣
- 祭器庫
- 參籠舎
- 手水舎
- 鳥居
- 雜具舎
- 燈籠十基

一、境内

六百九十八坪

國有地

附記

當社ハ本村ノ中央國見山ノ北麓ニアリ往昔吉田兼好ガ隠棲セシ靈地ニ
 近ク山靜ニ氣清ク老樹鬱蒼神境ヲ圍ミ幽邃古雅自ラ神代ノ古ヲ思ハシ

ムベシ

一、氏子

四百六十二戸

大正二年十二月現在

一、祭日

祈年祭 二月

新嘗祭 十一月

例祭 十月二十三日

(古例)例祭日ノ前夜御湯神樂ヲ行フ當日正午神輿渡御式アリ二本ノ竹(五十尺)ヲ十字形ニ結ビ白木綿一匹ヲ打掛ケ帆ノ形トシ(之ヲこたつきト云フ語義詳ナラズ)氏子ノ主ナルモノ之ヲ捧ゲ神輿ニ隨ヒ大聲ニ舟歌ヲ謠ヒツ、馬場ヲ渡御スルコト三回古雅ノ調アリ

舟歌

あきの田を蒔りほしゆけばあら霜のそいと
 の川きしいひぬめじろの柳いつか我身といつかは君とつゆしげきそいと
 のつゆしげき下葉の

露に袖はぬれそいとの櫛葉の下葉のかげで枕さだめほやろ
渡御終レバ更ニ馬駈ノ式アリ乗手三人袴ヲ着裸馬ニ跨リ白木綿ヲ手綱
トシテ馬場ヲ馳駈スルコト三回ナリ昔ヨリ種生ノ馬駈祭ト稱シテ地方
ニ名高シ

一、寶物

- 一棟札寫一卷
- 一棟札 一枚
- 一舟歌註一冊

一、基本財産

大正三年十二月現在

- 一現金 一千五百二十八圓八十三錢六厘
- 一勸業債券 額面七十圓
- 一農工債券 額面貳百圓
- 一田 一町四反二十九步

- 一畑 一反五畝十九步
- 一宅地 百八十四坪
- 一溜池 六反七畝十二步
- 一山林 一町一反九畝二十步

種生村 種生神社

ニ

種生御宮哀愍衆生 長享二年戊申卯月七日

聖主天中天大旦那各々

大工 藤原定吉
藤原光吉

我等今敬禮帝釋天王民各々

長三尺七寸五分 巾四寸七分 用材杉

(裏)ナシ

(表)

於常樂寺住持印通坊

フキ衆ハヒト清等大夫同左衛門
於種生惣宮上葺

同太良大夫
同新三郎

永正二年乙丑二月拾八日

同知事 泉通坊

泉殿 同岡野殿 同彌養殿 同中尾殿 同小竹殿 同池野殿
同伊豆殿 同町井殿 同小治郎殿 同竹之屋殿 同松城殿 同松岡殿
同松尾殿 同西殿 同小竹重郎殿 三郎太郎殿 新三郎殿 大島栗殿

(裏)

くにし寺秀圓善住順照

中尾脇乙五郎

乙四郎 ひと二郎

大川内二郎太夫

乙五郎 孫四郎 よも太郎

百姓之人數

しにしノ分

左近太夫 馬ノ次郎

ヒカシ脇ノ分

彌藤太夫 同彌太郎太夫

彌三郎太夫 彌市太夫

彌五郎太夫

市郎太夫 太夫太郎太夫

寺脇神主鳥居太夫 寺ほんきよう

すけ太夫

二郎太夫 むまの二郎

北ノ彦四郎太夫 山立五郎三郎

筆者 小竹重郎頼盛(華押)

長三尺八寸

巾八寸五分

用材杉

(表)

多門天 聖主中天 迦陵頻伽聲

大工羽根藤原甚太夫 時ノ聲
大工笛吹藤原金大夫 古郡大工左衛門持國天
同善三郎 同久七



大行事 文殊師利菩薩
小行事 普賢菩薩

元和三年己丁六月廿一日上遷宮奥不動寺大阿闍梨祐泉行之

廣目天 哀愍衆生者 我等今敬禮 當社三村氏人敬白

増長天

(裏)

竹之屋 福田周防 小川碌四郎

神主 甚太夫 彌左衛門

時之年預 彌三郎太夫 宇左衛門

與三郎

長三尺八寸

巾五寸

用材杉

(表)

聖主天中天 願主梵天王 常樂寺住持 神主鳥井太夫 天和二壬午
 迦陵頻伽聲 勸請師權大僧都法印快俊 時之大工 清左衛門
 △奉上葺鹿嶋大明神大日本伊州伊賀郡種生村惣宮祕文 少且主客
 哀愍衆生故 本願主帝釋天王大且主惣三村氏子 時之葺阿我山 藤兵衛 十二月十五日
 我等今敬禮

(裏)

若末法世人 小竹五左衛門 小川内村 梅山
 時ノ年寄衆庄屋 小竹彌左衛門 平三郎 孫太夫
 年寄矢持村 小竹次兵衛 竹長 吉
 彦左衛門 小川戸 五郎兵衛 福田牛兵衛 寺脇村 國見
 時ノ年預矢地 大竹忠左衛門 梅山 理右衛門 市左衛門
 澤太夫 大竹忠左衛門 甚兵衛 寺脇 矢地
 彌三郎太夫 山立村少六 甚右衛門 彦四郎

長三尺九寸五分 巾五寸六分 用材杉

(表)

聖主天中天 大願主梵天王 勸請師權大僧都宥清 神主 寬延元辰年
 迦陵頻伽聲 常樂寺大阿闍梨宥慶 小川源大夫
 △奉皆造宮鹿嶋大明神社頭祕文御重座所命々等諸鳥各々敬白
 哀愍衆生故 本願主帝釋天 大且主種生村惣社氏子 時大工 臘月初二日
 我等今敬禮 當村 小竹喜六友義

(裏)

若末法世人 葺屋上野小田村 時ノ役人 肝煎福田半右衛門 宮講中
 刀兵不能害 孫兵衛 小竹彌左衛門 大竹忠左衛門
 水火不焚漂 同年寄 同 小竹作之丞 三右衛門
 木挽才良村 庄右衛門 同 甚左衛門 加兵衛
 文右衛門 竹ノ屋甚之丞 同 文四郎 清之丞
 平 藏 竹永善左衛門

長四尺 巾六寸七分 用材杉
 ○元祿十二年九月四日造宮ノモノハ天和ト同形式ナリ、享保四年二月十八日ノモノハ全ク天和ノモノヲ模ス、明和六
 年二月十九日上葺、寛政八年四月二日上葺ノモノハ寛延ノモノヲ模ス、文政六年三月廿一日上葺、弘化三年三月廿八
 日上葺ノモノハ同形式ニ屬ス、承應二年二月六日上葺、寶永五年十二月鳥居造立ノモノ、及ビ明治以後ノモノハ略ス

村社 八柱神社

名賀郡矢持村木大字奥鹿野字大久保千四百番地鎮座

四二四

一、祭神

五男三女神

建速須佐之男命

大山祇神

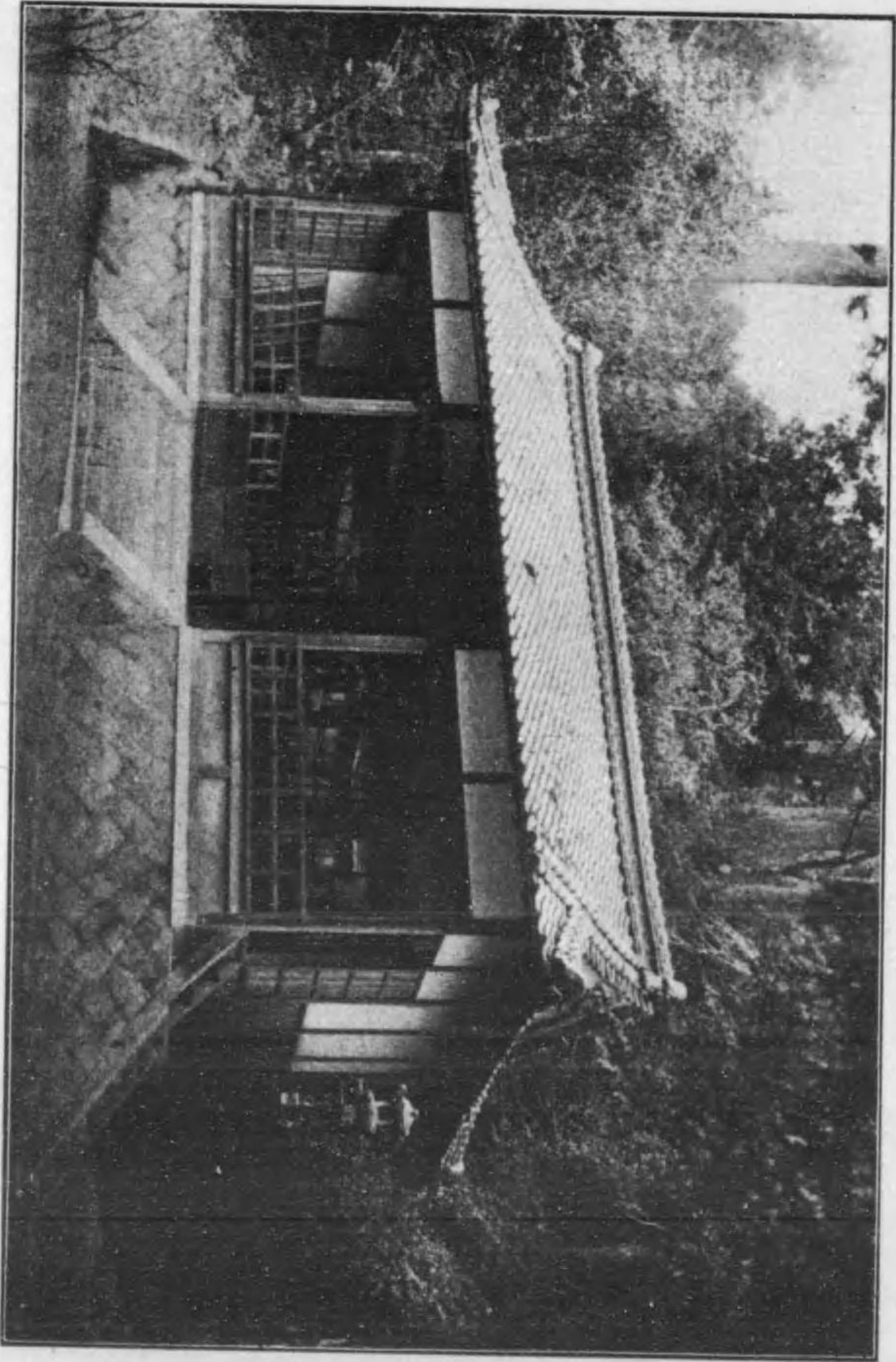
市杵嶋比賣神

火之迦具土神

一、由緒

當社ハ往古ヨリ現社地ニ鎮座マシ、八柱神社ト稱シ明治四十年四月七日許可ヲ得テ大字奥鹿野無格社津島神社、同市杵島神社同山神社二社、同愛宕神社ヲ合祀セリ

一、五男三女神ハ大字奥鹿野字大久保村社八柱神社ノ鎮座ニシテ「明細帳」ニ由緒不詳トアリ舊八王子ト稱セシヲ明治三年ニ改號セシモノニシテ



社神柱八社村 村持矢

奥鹿野建置ノ當時ヨリ奉祀セシモノナラン

- 一、建速須佐之男命ハ大字奥鹿野字みごふだ三百五十二番地無格社津島神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ由緒不詳トアリ
- 一、市杵島比賣神ハ大字奥鹿野字大久保千百六十九番地無格社市杵島神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ由緒不詳トアリ
- 一、大山祇神ハ同神二座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字奥鹿野字見行谷八百三十五番地無格社山神社其ノ一ハ字峯出千三百一^{ミホダ}番地無格社山神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ何レモ由緒不詳トアリ
- 一、火之迦具土神ハ大字奥鹿野字みごふだ二百五番地無格社愛宕神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ由緒不詳トアリ

一、補遺

明治四年七月村社ト定メラル

一、備考

(三國地誌)伊賀郡
神社

八王子祠 愛宕祠鹿野村

一、境内神社

若宮神社

- 一、祭神 アマノオシクモ 天押雲命
- 一、由緒 「明細帳」ニ「不詳」トアリ

一、建築物

- 本殿 春日造
- 拜殿
- 板垣
- 玉垣
- 鳥居
- 燈籠
- 參籠舎

一、境内

千百七千四坪

國有地

附記

當社ノ位置ハ當大字ノ南端ナル山麓ニ在リテ東西ノ鎮座ナリ北方ハ田圃ニ面シ東南南方ハ廻ラスニ森林ヲ以テシ老杉繁茂シテ鬱蒼タリ前面斜メニ谿流アリ實ニ幽邃タル神域ナリ

一、氏子

四十五戸

一、祭日

- 一、祈年祭 二月
- 一、新嘗祭 十一月
- 一、例祭 十二月一日

一、寶物

棟札 一枚 元祿十四年ノモノ

一、基本財産

大正三年三月末日現在

帝國五分利付公債額面	八百圓
六分利付三重縣農工銀行債券額面	百圓
六分五厘利付三重縣農工銀行債券額面	八百圓
四分五厘利付勸業債券額面	二拾圓
郵便貯金	五拾圓拾錢

矢持村 八柱神社



(表)

久昌三世古岩叟遷宮師尋_レ來緣_ヲ里人云委見_ニ棟札_ニ誠記板有_リ及_ニ朽缺_ニ其面曰奉皆造營八王子宮天文六丁酉三月二十五日氏子中社頭司久昌看坊了玄比丘遷宮畢其次曰去中冬廿六夜盜賊破_ニ却寶殿_ニ罅口寶鏡神具押_レ取放火去故鎮座來由記文失里人明且見(一字不明)烟走攪見灰中御長三寸聖觀音銅像卵形卵色珍石三出現拜看更無_ニ變色_ニ不思議妙容不盡靈寶也實御正牀明(一字不明)哉未_レ見_ニ神書_ニ依_ル薰篋_ニ則牛頭天王第三子大陰神俱摩羅天王本地聖觀自在尊有_レ之豈_ニ可疑_レ之矣于_レ世多_ク八王子曰者入將神內當_レ何總謂乎哉後師詳_レ之至祝不盡了玄沙門拜書託以上 古板朽缺故今改板無_ニ增減_ニ寫(以下不明)

伊州伊賀郡與鹿野村鎮守社內永々可_ニ秘要_ニ之一也

天文五丙申火失今年迄凡百六十六年乎右内明(三字不明)乙未迄百年餘間大小修補記書無_レ之但不_ニ皆造宮_ニ故乎同元未春奉造補八王子宮明曆元乙未三月二十八日四十軒(三字不明)中敬白遷宮師久昌智堂叟宮年預三郎太夫(一字不明)三太夫(七字不明)藏康昌右通篠板(六字不明)一板寫置也

(裏)

元祿貞享年中村司忠右衛門康次世話而石普請等出來一、左右駒狗者康昌四男勢州松崎居

森河七兵衛豊久同五男同州竹原居岡田六兵衛景利一、左右玉垣者康次康光兄弟之子供、名替一、烏居者康次兼長大夫寄進一、社頭上下石垣石階村中此以後寶殿內下之奉納物者人々書付可被致者也、此回顧企康次嫡子金右門康邑抽丹心三百五十餘氏子遠近緣付男女隣村各以厚富助力皆造營仕者也重乞不盡外緣寄進衆中伊勢地村松本七左衛門同名喜七郎福川村彌左衛門同傳右門勢州松崎森河七兵衛同州竹原岡田六兵衛

當村屋並

次郎三郎	安兵衛	源右門	甚衛門	伊兵衛	久藏
與七郎	加兵衛	左次兵衛	甚次郎	六兵衛	勘兵衛
利衛門	山三郎	長藏	與作	作兵衛	又兵衛
善兵衛	作衛門	作左門	與五郎	與兵衛	武兵衛
平衛門	平六	九兵衛	忠三郎	市兵衛	彦兵衛
久衛門	久兵衛	清助	善四郎	宇兵衛	半兵衛
平三郎	又兵衛	小十郎	才藏	孫助	長五郎
又四郎	久太郎	與八郎	三十郎	三助	小三郎
宗二郎	小助	權助	七兵衛	三良右門	孫三郎
平助	新兵衛				

河原田利兵衛康(一字不明)
 河原田金兵衛康宣
 年寄 甚兵衛
 宮年預 源三郎
 同 善右門
 庄司 河原田金右門康邑
 遷宮司 久昌宜道叟
 郡合六十三軒也
 隱々如律令 簞(華押)

(表)

寬延四年庚年

祈氏子中無難無災

五穀成就

火盜潛消諸緣吉利

遷宮師

奉造補八王子宮

久昌五世梅關叟

極月吉日

慈眼視衆生福聚海無量是故應頂禮

長二尺九寸

巾六寸四分

用材楮

(裏)

氏子屋並

忠左衛門	新兵衛	孫之丞	甚之丞	孫左衛門	新之丞	小三郎
文四郎	傳兵衛	多兵衛	善九郎	清九郎	重五郎	傳之丞
惣右衛門	宇兵衛	孫助	重次郎	孫左衛門	彦左衛門	傳之丞
嘉左衛門	源三郎	小右衛門	甚七郎	重三郎	清兵衛	久之丞
長左衛門	又四郎	甚八郎	吉右衛門	長助	惣八郎	捨松
與惣	源七郎	六左衛門	半左衛門	利右衛門	與三兵衛	四郎兵衛
角兵衛	勘五郎	與助	與左衛門	喜右衛門	九八郎	與次右衛門
七右衛門	新六郎	三郎平	由兵衛	久左衛門	次郎兵衛	半右衛門
與六	權四郎	忠右衛門	源右衛門	三右衛門		

當村 大工 勘平
 上野ひなた町 平
 菅屋半三郎
 名張東町 重次郎
 書師 重次郎

隱々如律令

年寄 忠兵衛
 年預 伊兵衛
 同 又三郎
 庄屋 福川村 又三郎
 都合六十七軒

四三二

(表)

梵天王善星皆來

維時安永三甲午年

棟梁伊州名張新町 今井平三郎

門弟同所

奉皆造營八王子宮

急々如律令

迂宮師

久昌現住六世未白叟代

喜文平六藏七

帝釋王惡星退散

季種念一黃上棟

匠師同所舍弟

今井源吉

木挽 當邑多七
 名張松崎町
 繪師 森女三四郎

長二尺九寸五分

巾六寸五分—五寸五分

用材楡

(裏)

夫尋當宮皆造營天文六丁酉從時以來今歲安永三甲午季秋迄無皆造營爰幸有英檀如鼎
 交三友抽赤心發願皆造宮產子各家始微增長半失壽福到繁榮者稀依發願皆造營
 一家鄉圓滿壽福以般若智現前仰翼垂照鑑萬難消滅五穀成就火盜潛消奉專祈者也
 產子屋並

角右衛門	勘平	源三郎	源右衛門	伊八	彦左衛門	喜六
久之丞	嘉左衛門	長兵衛	善八	吉兵衛	又八	作之丞
孫平	源吉	勘左衛門	半重郎	長治郎	新八	長右衛門

四三三

源之助 源 八 平三郎 作左衛門 甚 内 覺兵衛 喜右衛門
 平 内 傳兵衛 與 八 久左衛門 多 介 新右衛門 半兵衛
 忠兵衛 茂 平 長 七 儀 八 半之介 忠 藏 惣右衛門
 甚 六 孫之丞 孫兵衛 庄 八 忠左衛門 幸介 母 小三郎
 文 六 文 内 久多郎 宇兵衛 惣兵衛 十五郎 岩 藤
 清 六 甚 八 市之丞 德 八

四三四

前後六十四軒

年寄 關田傳之丞
 宮年預 長 藏
 同役 亦四郎

○寛政三年二月廿七日、文化三年七月七日、文政二年四月五日、嘉永七年四月十二日ノ
 モノハ安永ノモノヲ摸ス、享保六年八月二十日ノモノ及明治以後ノモノハ畧ス

(表)

善星皆來

奉皆造宮若宮文珠師利菩薩

惡星退散

迂宮師

久昌現住未白叟代

(裏)

維時安永三甲午

棟梁伊州名張新町

當所年預

今井平三郎

關田傳之丞

季穰念一糞

舍弟

宮年預

源 吉

長 藏
亦四郎

長一尺五寸 巾四寸—三寸 用材杉

○寛政三年二月廿七日ノモノハ之ヲ摸ス、明治以後ノモノハ畧ス

四三五

(表)

奉請愛宕山大權現造立

年寄 淺右衛門

村中 敬拜

(裏)

維時天明八申二月二十三亥

久昌寺大雄與代造營之者也

長二寸五分 巾二寸一吋五分 用材杉

(表)

日月清明 天下泰平

山神

山難消滅 國土安穩

(裏)

于時寛政八辰六月七日

作工 中鹿泰柳

庄屋 淺右衛門

年寄 長藏

長一尺二寸 巾三寸 用材杉

(表)

一切日皆善

奉勸請大辨財天鄉內安全如意滿足

一切悉皆現

(裏)

奧鹿野庄屋政左衛門

年寄長藏

五人頭

傳善嘉半林文磯儀
之五郎三三
丞郎藏太郎治藏郎

天保十五辰歲春正月廿六日

長一尺三寸七分 中五寸二分 用材杉

(表)

岡象女神

維時天保四癸巳年

工匠腰山村
惣右衛門

葺屋
比土半藏

奉上棟大元尊神理住久昌十三世圓應家門長久榮昌守護所

五帝龍神

三月二十四日上棟

繪師名張
秀精

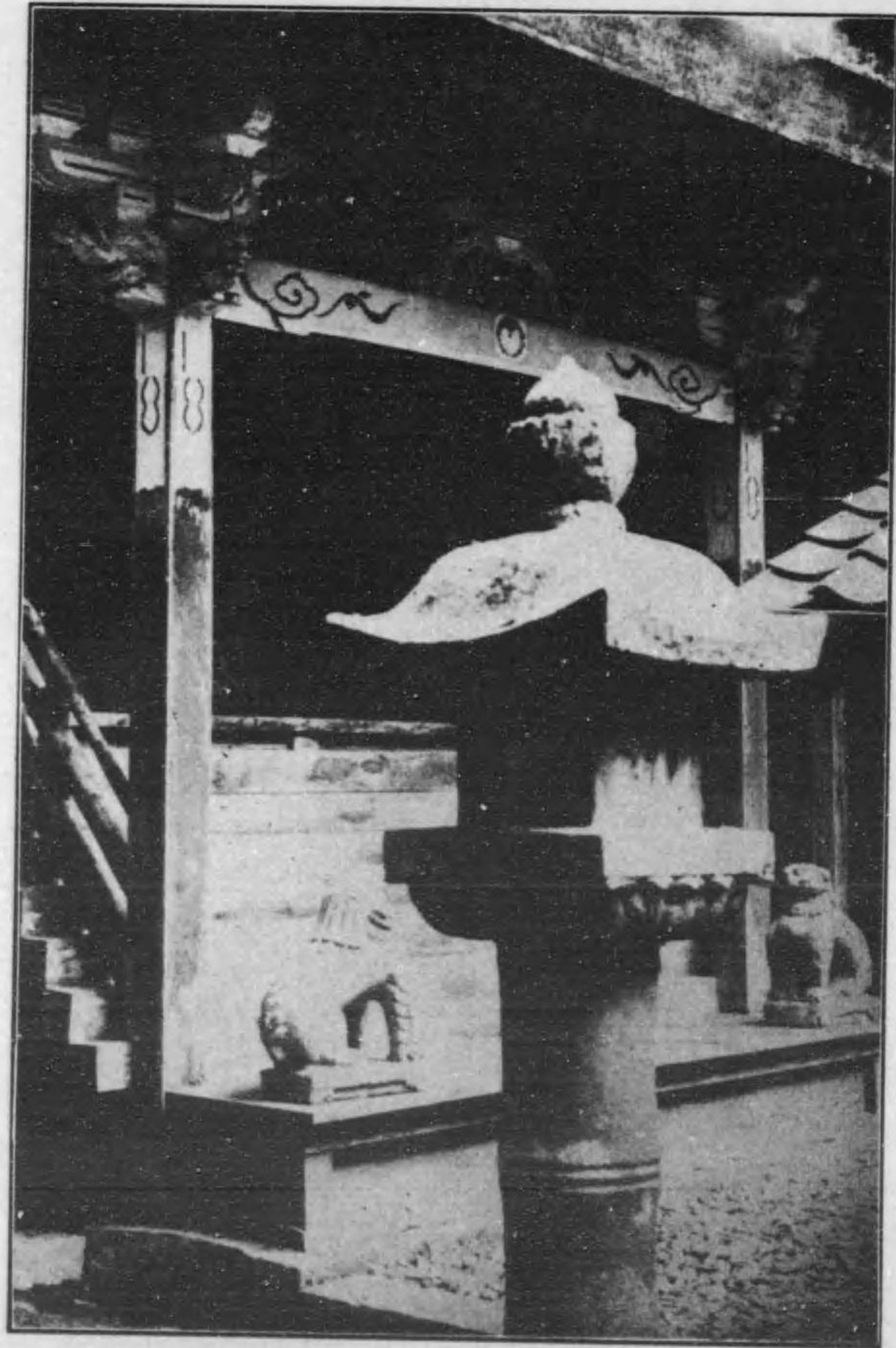
木挽
當村新治

長三尺 中八寸五分 用材杉

(裏)

産子屋並 寄附

政左衛門	長藏	柳次	繁治	善七	作左衛門	半三郎	林藏
久右衛門	小三郎	儀藏	九重郎	傳之丞	嘉十郎	惣右衛門	新助
伊藏	彦兵衛	幾藏	又四郎	利藏	善次	長右衛門	庄藏
利助	伊左次	嘉藏	又五郎	林次	勇介	庄助	辨藏
藤次郎	祐治	清内	善兵衛	金次	おすゑ	要藏	惣内
宇藏	磯太	孫内	榮助	儀右衛門	甚之丞	宇内	重藏



社神嶋鹿社村 村持矢

文太 清次郎 清助

四四〇

庄屋 政左衛門
 年寄 長藏
 宮年預 林藏
 半三郎

○以上ノ他文化十三年十月廿八日護摩修行ノモノ、天保十四年八月明王秘法修行ノモノ
 弘化二年八月辨財天造立ノモノ及天保四年亡月十六日ノモノ一枚之ヲ畧ス、明治以後
 ノモノ亦之ヲ畧ス

村社 鹿嶋神社

名賀郡矢持村大字霧生字宮ノ下二千五百八十七番地鎮座

一、祭神

武甕槌命
經津主命
譽田別命
火之迦具土神
建速須佐之男神
大山祇神
天押雲命

一、由緒

一當社ハ往古ヨリ現社地ニ鎮座マシ、鹿島神社ト稱シ許可ヲ得テ大字霧生無格社八幡神社同愛宕神社同津嶋神社二社同山神社ヲ同年九月十九日ニ合祀シ次テ明治四十年十月十八日許可ヲ得テ字長勿無格

社八幡神社及本社境内社若宮神社ヲ同年十月二十日ニ合祀セリ

一、武甕槌命經津主命ハ大字^{キリウ}生字宮^{キヤ}ノ下村^{モト}社鹿島神社ノ鎮座ニシテ「明細帳」ニ由緒不詳トアリ

一、譽田別命ハ同神二座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字霧生^{キリウ}字大久保^{オホク}八百八十二番地無格社八幡神社其ノ一ハ字長^{チヨウ}勿^{ハネ}六十六番地無格社八幡神社ノ鎮座ナリシカ「明細帳」ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、火之迦具土神ハ大字霧生^{キリウ}字中西^{ナカニシ}三千二百二十番地無格社愛宕神社ノ鎮座ナリシカ「明細帳」ニ由緒不詳トアリ

一、建速須佐之男命ハ同神二座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字霧生^{キリウ}字中^{ナカ}出^デ三千三百三十二番地無格社津島神社其ノ一ハ字村^{ムラ}瀬^セ千九百八十八番地無格社津島神社ノ鎮座ナリシカ「明細帳」ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、天押雲命ハ大字霧生^{キリウ}字宮^{ミヤ}ノ下村^{モト}社鹿島神社境内社若宮神社ノ鎮座ナリシカ「明細帳」ニ由緒不詳トアリ

一、大山祇神ハ大字霧生^{キリウ}字落^{オチ}合^{アヒ}三千四百十番地無格社山神社ノ鎮座ナリ

シカ「明細帳」ニ由緒不詳トアリ

一、補遺

明治四年七月村社ニ定メラレ同三十九年十二月三重縣告示三百八十號ヲ以テ神饌幣料供進指定社トナレリ

一、考證

○元鹿島神社、八幡神社

〔伊水溫故〕阿山郡立圖書館本

鹿島宮

同 村^{〇霧生}

武雷神 阿保大村之社より勸請

村の氏社

宮坊豊神宮寺

同村天照寺下

〔三國地誌〕伊賀郡神祠

鹿島祠

按阿保ヨリ此ニ遷座是ヨリ夏見ヘ遷座ナシ玉フト云享祿元年戊子ノ

上梁文アリ ○中畧
霧生村

○元津島神社、八幡神社

(三國地誌)伊賀郡
神祠

牛頭天王祠 並霧
生村 八幡祠

一、建築物

本殿 流造

拜殿

參籠舎 二棟

鳥居

燈籠 二基

一、境 内

七百八十七坪

國有地

附記

本社位置ハ大字霧生ノ東端ニアリテ南面ノ座ナリ境内ニ千古ノ老樹天

ヲ覆ヒ常ニ鬱蒼タリ前面ニ谿川横タハリ四時綠色ヲ映ス真ニ幽邃ノ風
光人ヲシテ覺ヘス神域ノ尊嚴ヲ仰ガシム

一、氏 子

百二十戸

大正三年十二月現在

一、祭 日

祈年祭 二月

新嘗祭 十一月

例祭 十月二十一日

一、寶 物

棟札 一枚 享祿元年ノモノ

一、基本財産

大正三年三月末現在

一、現金 一千七百三十五圓四十五錢五厘

一、田 三反四畝二十步

一、山林 七畝二十三歩

矢持村霧生 鹿島神社

四四六

(表)

瓜之元棟上

享祿元年

禮口坊榮順年預衆

長...上田殿四郎衛殿

岡山殿彌四郎殿 大工藤原左衛門

十郎殿 吉井殿

合衣

十一月十六日

東谷殿 福住殿

權大工加賀

田中殿 松室殿

神主九郎大夫

(裏)

同享祿元年三月廿九日上葺之軒付始之大交文之分

大夫

太郎大夫

與一大夫

彌四郎大夫

兵衛大夫

大夫

(裏) 續キ

積大夫

四郎部

兵衛左衛門

太郎大夫

兵衛

釘三貫 百文

袖取入目十石

番匠入目廿五石

遊目入目廿石

彌大夫

左近三大夫

兵衛次郎大夫

八郎大夫

馬之次郎大夫

八郎大夫

次郎大夫

若大夫

此分久十大夫

彌三郎大夫

次郎大夫

藤衛門

形部大夫

與一大夫

四郎大夫

此時

五郎大夫

與一大夫

五〇大夫

同〇五百文

長六尺一寸七分

巾五寸七分

用材杉

(表)

△死 元乳

川山險谷中 一切月皆善 一切之皆賢

迦陵頻伽聲 諸神皆威德 羅漢皆斷漏

奉命等諸鳥 以此誠實言 一切諸鬼神

悉聞其音聲 願我成吉祥 皆生歡喜念

遠離於哀地

神主岡山庄屋 金三郎 藤原之 與一大夫

時之大

遷宮坊主清順

袖取各

袖方之入目

四石六斗

大工方之入目

十石五斗

代一石六斗

令我常安穩

木之本願

福山

時之松室、中西、同本願地下各惣

年預分四郎

四四七

(裏)

庄屋

金衛門	德太夫	太郎左衛門	二郎衛門	宗太夫	新二郎	源四郎
左衛門	少衛門	善衛門	三郎衛門	大郎衛門	甚七郎	源五郎
富太夫	彌左衛門	長衛門	源太夫	宗衛門	宗十郎	宗三郎
若太夫	宗左衛門	四郎太夫	助太夫	彌左衛門	彌四郎	與七郎
彌衛門	衛門太夫	甚衛門	衛門二郎太夫	左衛門	與三郎	甚九郎
與衛門	新衛門	彌衛門	甚左衛門	又三郎	甚太郎	彌三郎

長五尺一寸

巾七寸七分

用材杉

四四八



奉謹安心五社之佛鹿島大明神修造棟札之事

于時寛永三安心
日繼文迎和尚
稔仲呂拾九日清尊

伊州阿我郷霧生村 大工 藤原朝臣 松岡相摸守(華押)

諸人祭禮敬白 神主 藤原朝臣 福山越後

長六尺三寸

巾五寸八分

用材杉

(裏)ナシ

○寛文九年卯月十二日及貞享三年三月十日ノモノハ寛水ノモノヲ摸ス、元祿十四年三月十七日葺替、寛延三年十一月三十日造宮ノモノ等ハ之ヲ略ス

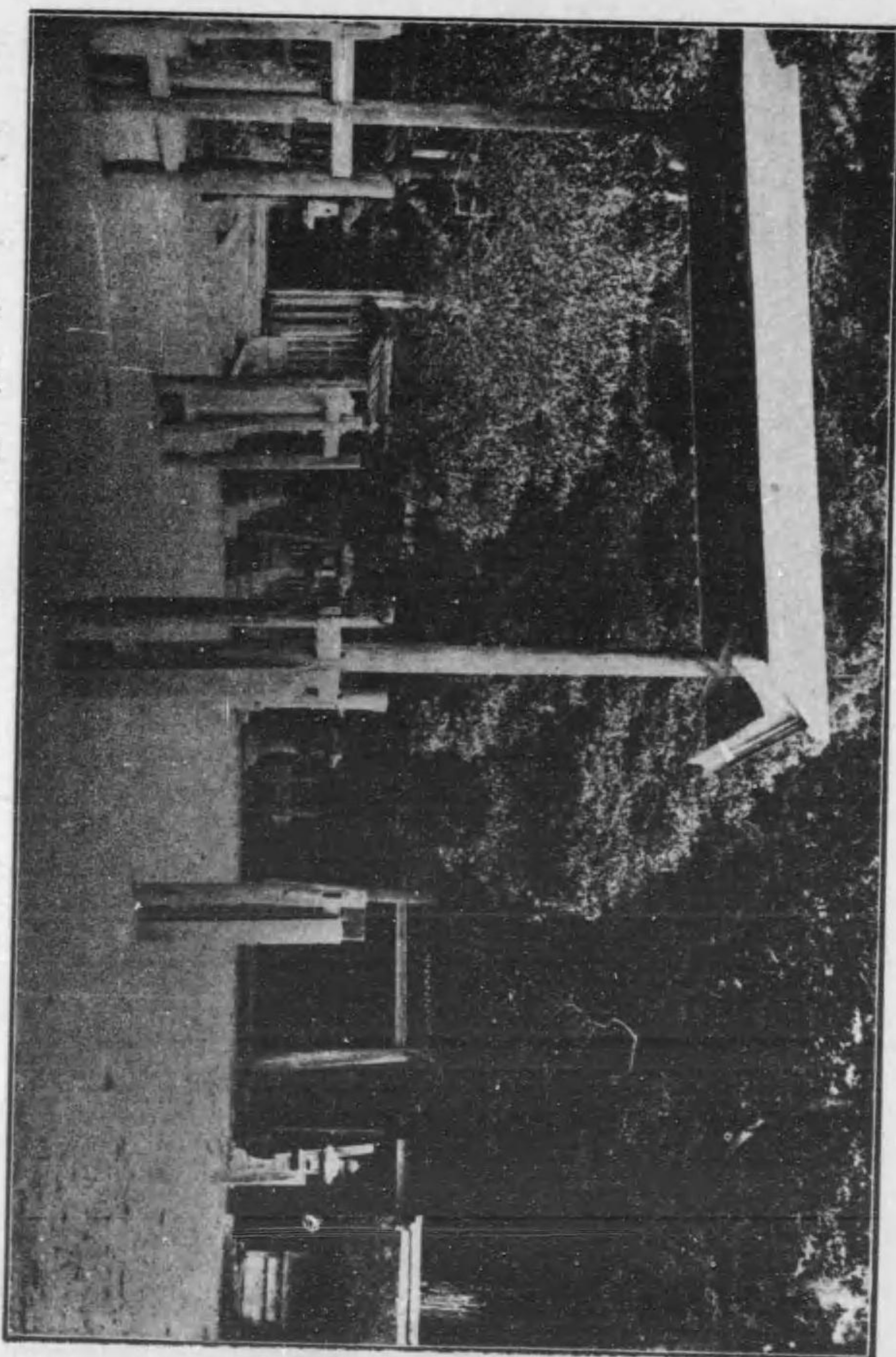
四四九

村社 延喜式内 比々岐神社

名賀郡上津村大字北山字宮下千四百二十一番地鎮座

一、祭神

- 比々岐神
- 武甕槌神
- 經津主神
- 天兒屋根命
- 健速須佐之男命
- 大日靈貴命
- 速玉男神
- 事解男神
- 伊邪那美神
- 譽田別命
- 大物主神



社神 比々岐神社 村津上

大山祇神
火産靈神
市杵島比女神
綾門日女神
事代主神
宇迦之御魂神

一、由緒

當社ハ往古ヨリ現社地ニ鎮座マシク比々岐神社ト稱シ明治四十年十月廿六日許可ヲ受ケ本社境内村社鹿島神社同無格社神明神社同綾戸神社同惠美須神社大字伊勢地村社津島神社大字下川原無格社津島神社大字北山村社市杵島神社無格社愛宕神社同金刀比羅神社大字勝地村社熊野神社大字妙樂寺村社岩神社大字瀧村村社熊野三所神社ヲ同四十年三月二十三日ニ合祀セリ而シテ此合祀前ニ於ケル其ノ大字伊勢地村社津島神社ハ明治四十年十二月十六日許可ヲ得テ其ノ社境内社稻荷神

社同神明神社同狩魔神社及同大字無格社金刀比羅神社同愛宕神社同山
 神社五社ヲ同年十二月廿五日ニ合祀セシモノ其ノ大字下川原無格社津
 島神社ハ明治卅九年九月十七日許可ヲ得テ同大字無格社八幡神社同山
 神社三社同稻荷神社ヲ同年九月廿八日ニ合祀セシモノ其ノ大字北山無
 格社秋葉神社ヲ同年十月十五日ニ合祀セシモノ其ノ大字北山無格社金
 刀比羅神社ハ明治四十年十月一日許可ヲ得テ同大字無格社山神社五社
 同津島神社同八幡神社二社同市杵島神社ヲ同年十月十五日ニ合祀セシ
 モノ其ノ大字勝地村社熊野神社ハ明治三十九年九月十七日許可ヲ得テ
 同大字無格社愛宕神社同市杵島神社同津島神社同山神社八社同八幡神
 社二社ヲ同年九月廿五日ニ合祀セシモノ其ノ大字妙樂寺村社岩神社ハ
 明治四十年十二月十一日許可ヲ得テ同大字無格社八幡神社二社同山神
 社三社同津島神社同神明社同秋葉神社同金刀比羅神社ヲ同年十二月廿
 五日ニ合祀セシモノ其ノ大字瀧村村社熊野三所神社ハ明治四十年十二
 月十一日許可ヲ得テ其ノ社境内社八幡神社及同大字無格社津島神社同
 境内社神明神社同金刀比羅神社同山神社五社ヲ同年十二月廿五日ニ合

セシモノナリ

一、比々岐神ハ大字北山字宮下村社比々岐神社ノ鎮座ニシテ[明細帳]ニ其
 ノ由緒本社創立年月不詳ナリト雖モ延喜式神明帳見在ノ神社ナリト
 アリ

一、武甕槌神經津主神天兒屋根命ハ大字北山字宮下千四百二十七番地村
 社比々岐神社境内村社鹿島神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳ト
 アリ而シテ經津主神ハ同神一座ヲ合靈セシモノニシテ大字伊勢地字
 谷ノ奥千四百五十番地村社津島神社境内社狩魔神社ノ鎮座ナリシガ
 [明細帳]ニ由緒不詳トアリ

一、健速須佐之男命ハ同神六座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字伊勢
 地字谷ノ奥千四百五十番地村社津島神社其ノ一ハ大字下川原字清水
 谷二百二十番地無格社津島神社其ノ一ハ大字北山字宮下千四百四十
 番地無格社津島神社其ノ一ハ大字妙樂寺字中正路八百五十二番地無
 格社津島神社其ノ一ハ大字瀧村字川向五十四番地無格社津島神社ノ
 鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、大日靈貴命ハ同神四座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字北山字宮下千四百二十七番地村社比々岐神社境内社神明神社其ノ一ハ大字伊勢寺字谷ノ奥千四百五十番地村社津島神社境内社神明神社其ノ一ハ大字妙樂寺字中^{ナカシヤツデ}正路八百九十番地無格社神明神社其ノ一ハ大字瀧村字川向^{カハムカヒ}五十四番地無格社津島神社境内社神明神社ノ鎮座^{チンザ}ナリシガ^シ明細帳ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、速玉男神事解男神伊邪那美神ハ大字瀧村字上切^{カミギリ}二百七十七番地村社熊野三所神社ノ鎮座ナリシガ^シ明細帳ニ由緒不詳トアリテ創立年月不詳ト雖モ元龜四年ノ上棟文アリ而シテ伊邪那美神ハ同神一座ヲ合靈セシモノニシテ大字勝地^{カツア}字中七百十三番地村社熊野神社ノ鎮座ナリシガ^シ明細帳ニ由緒不詳トアリ

一、譽田別命ハ同神九座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字妙樂寺字岩崎^{イハサキ}八十七番地村社岩^{イハ}神社其ノ一ハ同大字字岩崎百五十一番地無格社八幡神社其ノ一ハ同大字字中正路七百廿八番地無格社八幡神社其ノ一ハ大字瀧村字上切二百七十七番地村社熊野三所神社境内社八幡神

社其ノ一ハ大字勝地字中四百九十一番地無格社八幡神社其ノ一ハ同五百三十四番地無格社八幡神社其ノ一ハ大字北山字日燒^{ヒヤク}三百十番地無格社八幡神社其ノ一ハ大字下川^{シモカハ}原字七^{ナナ}谷^{タニ}二百四十二番地無格社八幡神社ノ鎮座ナリシガ^シ明細帳ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、大物主神ハ同神四座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字瀧村字谷出^{タニデ}九百五十九番地無格社金刀比羅神社其ノ一ハ大字妙樂寺字稻廣^{イヌヒロ}千三十六番地無格社金刀比羅神社其ノ一ハ大字北山字宮下千四百三十九番地無格社金刀比羅神社其ノ一ハ大字伊勢地字谷ノ奥千四百廿三番地無格社金刀比羅神社ノ鎮座ナリシガ^シ明細帳ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、大山祇神ハ同神二十九座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字瀧村字西切^{ニシギリ}七百九十五番地無格社山神社其ノ一ハ全五百九十五番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字上切^{カミギリ}三百九番地無格社山神社其ノ一ハ同三百八番地無格社山神社其ノ一ハ大字妙樂寺字岩崎^{イハサキ}二百五十二番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字稻廣^{イヌヒロ}九百四十番地無格社山神社其ノ一

ハ同九百九十一番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字中四百九十八番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字猪ノ木七百六十六番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字濱井場千九十五番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字大坪千六百七十四番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字猪ノ木九百十四番地無格社山神社其ノ一ハ同八百八十二番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字谷山百八十八番地無格社山神社其ノ一ハ大字北山字辻五百九十五番地無格社山神社其ノ一ハ同八百九十四番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字宮下千四百三十一番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字日燒四百五十三番地無格社山神社其ノ一ハ同三百廿二番地無格社山神社其ノ一ハ大字伊勢地字高寺九十三番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字道筋七百七十五番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字青山千三百五十九番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字谷ノ奥千四百四十八番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字青山千三百八十五番地無格社山神社其ノ一ハ大字下川原字七谷二百五十三番地無格社山神社其ノ一ハ同大字字六十苅六百五十番地無格社山神社其ノ一ハ同七百三

番地無格社山神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒[不詳]トアリ

一 火産靈神ハ同神五座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字妙樂寺字稻廣千番地無格社秋葉神社其ノ一ハ大字北山字日燒四百四十三番地無格社秋葉神社其ノ一ハ大字勝地字川南千五百十九番地無格社愛宕神社其ノ一ハ大字北山字日燒四百七十番地無格社愛宕神社其ノ一ハ大字伊勢地字赤井谷七百九十一番地無格社愛宕神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒[不詳]トアリ

一 市杵島比女神ハ同神三座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字勝地字猪ノ木七百六十三番地無格社市杵島神社其ノ一ハ大字北山字辻九百廿六番地無格社市杵島神社其ノ一ハ同字無格社市杵島神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒[不詳]トアリ

一 綾門日女神ハ大字北山字宮下千四百廿七番地村社比々岐神社境内社綾戸神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒[不詳]トアリ

一 字迦之御魂神ハ同神二座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字伊勢地字谷ノ奥千四百五十番地村社津島神社境内社稻荷神社其ノ一ハ大字

下川原字六十^カ七百五番地無格社稻荷神社ノ鎮座ナリシガ「明細帳」ニ
何レモ由緒不詳トアリ

一、補遺

明治四年七月村社ニ列セラレ同三十九年十二月三重縣告示第三百八十
號ヲ以テ神饌幣帛科供進指定社トナレリ

一、考證

〔延喜式九〕^{神名上}

伊賀郡十一座^{並小}略^{○中}

比々岐神社

〔伊水溫故〕^{阿山郡立圖書館本}

大内社^{伊賀郡之稱號}

當社古今に異説あり

大内^{上之庄村}

一儀に少彦名命を鎮此神は當國敢國京五條天神鞭馬鞞の天神と同躰也

高皇產靈尊御子にて天上より降臨なる故に天神といふ神の字清濁に習
あり

延喜式伊賀廿五坐比々岐社少彦名命是當社也

天滿天神と稱すなと天正の兵亂に混亂して黎元誤る所也

祭禮廿五日を用ゆ菅大臣と心得たるものなり上之庄下之庄兩郷の氏
社宮地も二郷の中にも有

〔神名帳考證〕^{出口延經}

比々岐神社^{ヒビキ} 在大内上庄村云天神 天日別命 姓氏錄云日奉連高魂命

之後也 近江國天比々岐命神社

〔三國地誌〕^{伊賀郡神祠}

比々岐神社

延長風土記曰伊賀郡比々岐里下肥也有神號比々岐明神所祭少彦名也

按北山村上津鹿島ノ地主神八幡宮ト稱スル是ナリ天正ノ兵火ニ靈威
アリテ炎上セズ元龜四年以降ノ上棟文アリ此ノ郷鼓峯大鼓山瀧村等
ノ名アルモノハ比々岐ノ社號ニ因ルトコロラシル

〔伊水溫故〕阿山郡立圖書館本 北山村

八幡宮

郷人の曰鹿島勸請より以前の地主は八幡宮也といふ○本村ニ上津社アリ鹿島ノ神ヲ祭ル然共八幡にはあらん由氣忌寸を祭るなり此地主の根源の忌寸也鹿島春日は後世乃舊跡

〔神名帳考證〕伴信友

比々岐神社

〔伊考未詳又在内上庄邑〕○近江國伊香郡天比々岐命神社

〔神社叢録〕

比々岐神社

比々岐は假字也 祭神少彥名命 大内上莊村に在す、今天神と稱す伊水溫故

〔天日本史〕神祇志

比々岐神社○今在大内上庄或云、在北山村

〔神祇志料十〕賀伊

比々岐神社今大内上庄邑に在り伊水溫故神名帳考證式社考

〔伊賀國誌草稿〕神祇寺院

比々岐神社

伊賀郡北山村字宮下ニ在リ境内ハ百八拾八坪創建詳ナラズ比々岐神ヲ祭ル祭日八月十五日延喜ノ時小社ニ列ス式天正元年西癸之ヲ再建シ棟九年己辛ノ亂幸ヒニ恙ナキヲ得タリ社傳云往昔社領二十石アリト始メ上津山寶珠院本社別當タリ維新ノ後之ヲ廢ス明治 村社ニ列ス境内末社一字氏子三百七十五戸

〔按〕式内比々岐神社ノ社地ニ就テハ古來二説アリ、即チ伊水溫故ハ猪田村大字上之庄ナル天神社伊賀史ノ所謂大内社、即チ合祀前ノ村社菅原神社ヲ以テ之ニ擬シ、出口氏及伴氏ノ神名帳考證、神社叢録、神祇志料等之ヲ襲ヘリ本村北山ナル八幡宮ヲ以テ之ニ擬スルハ三國地誌ニ始ル、然レドモ地誌ノ説ヲ立ル所根據極メテ薄弱ナリ、溫故ノ説何ニ據レリヤ明ナラズト雖寧ロ地誌ニ勝ランカ、伊水溫故神社叢録等ニ祭神ヲ少彥名命トナスハ延長風土記ニ據レルモノナレバ信シ難シ、又溫故ハ北山ノ八幡宮ヲ以テ由氣忌寸ヲ祀ルト爲ス延喜神名式近江伊香郡ニ天比々岐命神社アリ、是レ本社ト同神ヲ祭レルモノナラン、而モ此ノ命ノ神系事蹟明ナラズ、出口氏神名

帳考證或ハ天日別命ニ擬シ、或ハ日奉連ノ祖高魂命ニ繋グ、果シテ當レ
リヤ否ヤヲ知ラズ、上之庄ナル菅原神社天神社ニ就テハ猪田村村社猪
田神社ノ條下ヲ参照スベシ

北山ノ八幡宮ハ俗稱柚ノ八幡ト云フ、口碑云、天正中北畠信雄ノ兵本村
ヲ侵スマ、將ニ本社ヲ燒盡セントシテ能ハズ、依テ柚ヲ以テ社殿ヲ破壊
セントス神靈忽チ白龍ニ化シテ出現シ給フ、北畠ノ兵恐レテ逃走スト、
今猶社殿御拜柱ニ柚ノ跡アルハ當時ノ遺痕ナリト云フ

○元北山比々岐神社境内社鹿島神社、同境内社神明社、綾戸神社、惠
美須神社

〔伊水溫故〕阿山郡立
圖書館本

上津社

北山村

本宮一殿三座

武雷命
天兒屋根 郷人鹿島ト云

天正兵亂ニ除回録二座を鎮座以後に香

取の神經津主加たり仍て三座とす神護景雲三年勸請 祭月十一月
六日

武雷命常陸國鹿島より當國に來現壬生野の社に屢有て然より布引山を

經て馬野の坂下に暫又當社にうつりて神遊し大村に間もなくとまり
給ふ○中略

古は攝社四字 由氣忌寸 綾戸御前牛頭
天照大神 惠比須 天王 御供所一二、鷄栖僧房四ヶ寺 東北之坊 西之坊
北之坊 新坊
社領百廿石と舊記にあり悉すたれて二社一坊なり
當社と瀧妙樂寺勝地北山、伊勢地下川原六郷の氏社此六ヶ村を上津と云
ふ此在家並を上津谷と云

別當 上津山寶珠院又大坊と云

高野 安樂院下

〔三國地誌〕伊賀郡
神祠

鹿島社 牧岡香取
同殿

按神護景雲元年鹿島ヨリ遷座スト云上津六郷共ニ祭祀ヲ預ル慶長十
七 years 上梁文ニ鹿島之大明神上津宮ト云々

神明祠 綾戸御前 素戔
鳥尊 蛭兒祠 已上
末社 (中略) 並北
山村

○元北山市杵島神社、愛宕神社、八幡神社

〔三國地誌〕伊賀郡
神祠

愛宕祠 辨天祠 八幡祠 鹿嶋以下
並北山村

○元伊勢地愛宕神社

(三國地誌)伊賀郡
神祠

愛宕祠伊勢
地村

○元下川原八幡神社

(三國地誌)伊賀郡
神祠

八幡祠並下河
原村

○元勝地熊野神社

(三國地誌)伊賀郡
神祠

熊野祠勝地
村

○元妙樂寺岩神社

(伊水溫故)神宮文
庫本

阿彌陀寺

眞言宗

鎮守岩神

(三國地誌)伊賀郡
神祠

妙樂寺村

瀧村瀧泉寺下

岩神八幡祠妙樂
寺村

○元瀧村熊野三所神社同境内社八幡神社

(伊水溫故)神宮文
庫本

瀧泉寺

眞言宗 聖天之像有

此里の川上に瀧有故に寺號とす瀧の側に黒素佛クロソウとて石佛有

此邊に熊野權現小社八幡小社二社有在所より三町辰己瀧有七八尺落

(三國地誌)伊賀郡
神祠

熊野祠並瀧
村

一、建築物

本殿流造

瑞垣

拜所

神樂殿

瀧村

高野山 安樂院末寺

鳥居

參籠舎

手水舎

燈籠十二基

寶庫

神饌所

一、境 内

三千六百廿三坪

國有地

附記

當社ノ位置ハ村ノ中央大字北山南方ノ山麓ニ在リテ東南ハ山岳相連ナリ東北ハ田園廣ク長田川ノ清流其間ヲ貫流ス社殿ハ丘陵ノ神域ニ南面シテ鎮座セリ杉檜雜木ノ老樹鬱蒼トシテ繁茂シ中ニハ一千年以上ノ老杉互ニ枝ヲ交ヘ實ニ其ノ神々シサ人ヲシテ自ラ襟ヲ正サシム

一、氏 子

三百六十五戸

大正二年十二月現在

一、祭 日

一 祈年祭 二月

一 新嘗祭 十一月

一 例祭 九月十五日

一、寶 物

棟札 一枚 元龜四年ノモノ

一、基本財産

大正三年三月現在

一 三重縣農工債券 額面貳千五百圓

一 勸業債券 額面四十圓

一 郵便貯金 八圓七十六錢六厘

一 畑 六畝十四步

一 山林 一町七反一畝六步

上津村 比々岐神社

四六八

聖主天中天

迦陵頻伽聲

上棟云

哀愍衆生者

我等今敬禮

右八幡宮新造建立旨趣庄内豊饒萬繁昌處

住持原桂 中

元龜四癸酉歲

兩大工 藤原宗長

時之年預者

二月廿七日申時

長四尺八寸五分

巾四尺四分

用材杉

云

奉爲天地八陽經也上棟

天正十八年庚子極月廿六日 于時大工源四郎

長三尺一寸五分

巾三寸二分

用材杉

多門天

聖主天中天

迦陵頻伽聲

本願各人英尊

持國天

大行事

文殊師利菩薩

伊勢地大工

久次藤原朝臣正次

久

鹿島之大明神上津宮秘文

慶長拾七年霜月十八日柱立同十二月二日棟上

小行事

普賢菩薩

增長天

廣目天

哀愍衆生者

我等今敬禮

長五尺八分

巾六寸二分

用材楡

多門天

迦陵頻伽聲

命々等諸鳥

宮坊宥盛

正保三丙天卯月廿六日

法報 應化

奉再興上葺鹿島大明神上津宮

廣目天

哀愍衆生者

我等今敬禮

長五尺七寸

巾六寸八分

用材杉

四六九

多門天 聖主天中天 迦陵頻伽聲 本願住持鏡
宥法印

瓦 奉^{時ノ}上葺鹿島大明神上神宮 寛文九巳酉年五月十三日

庄ノ

タキ 六右衛門
妙樂寺 半三郎
カチシ 六左衛門
北山 六左衛門
イセシ 次左衛門
下川原 七右衛門

廣目天 哀愍衆生者 我等今敬禮 權大工
藤原正次

增長天

長三尺六寸二分 巾五寸二分 用材繪

瓦

奉造營八幡大菩薩社頭一字皆造營氏子繁昌息災延命消難遠離子孫繁榮諸願成就皆令滿足祈所

大行事 帝釋天 聖主天中天 迦陵頻伽聲

小行事 四天大王 哀愍衆生者 我等今敬禮 天和三癸亥年八月二十一日 本願導師大阿闍梨

長二尺一寸二分 巾二寸五分 用材朴

(裏) 永堅

多門天 聖主天中天 迦陵頻伽聲 持國天 本願住持 宥重

瓦 奉^{時ノ}上葺八幡大菩薩上津宮 于時元祿十六癸未年卯月五日

廣目天 哀愍衆生者 我等今敬禮 增長天 大工 阿保町 孫左衛門
小波田村 左兵衛

長三尺六分 巾五寸六分 用材繪

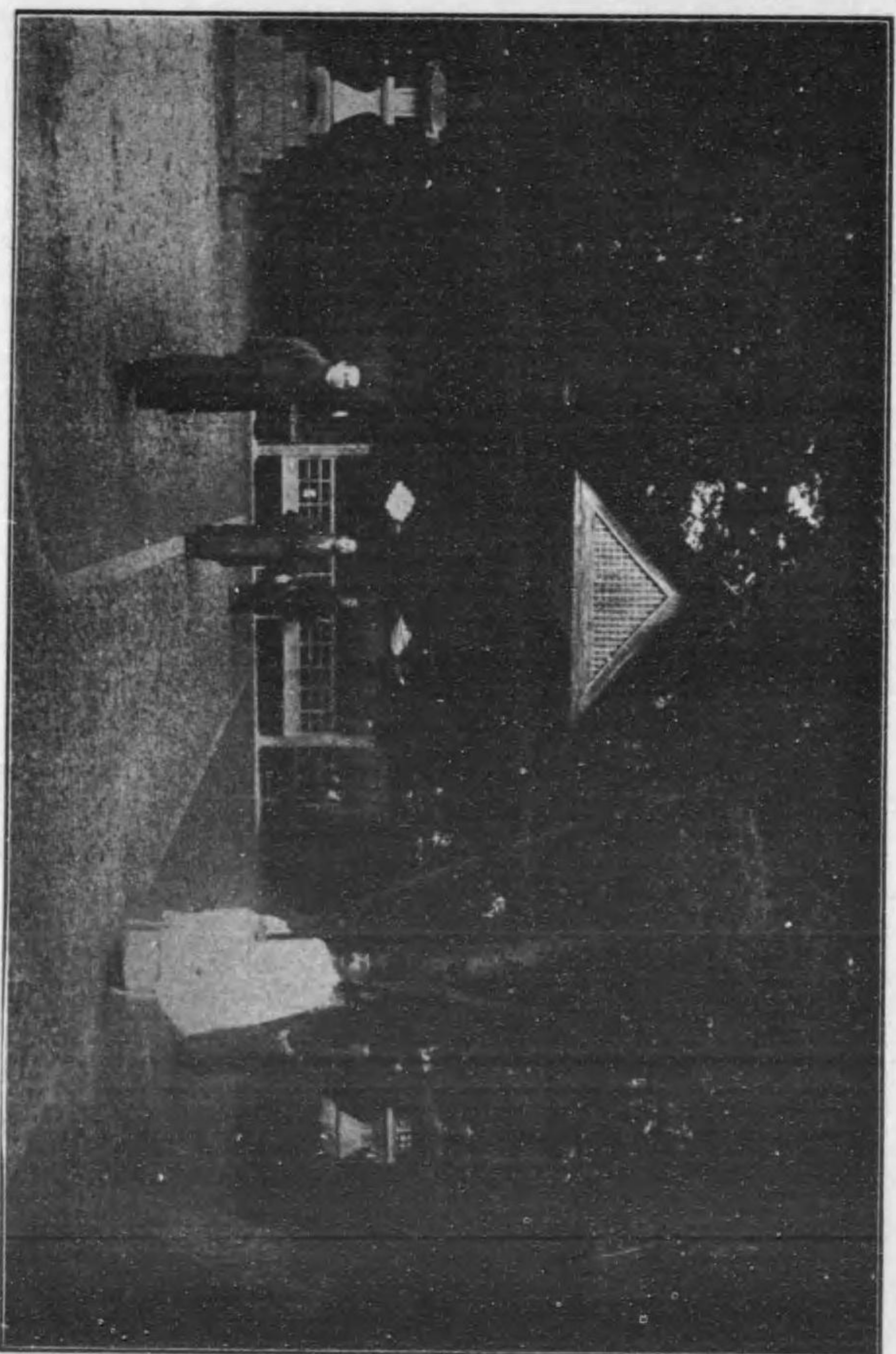
○慶安四年六月廿八日ノモノハ慶長十七年ノモノヲ摸セリ

村社 神戸神社

名賀郡神戸村大字上神戸字宮本三百十八番地

一、祭神

大日靈貴命
 倭姫命
 天太玉命
 天手力男命
 天兒屋根命
 彌都波能賣命
 正哉吾勝々速日天忍穗耳命
 鹿島神
 三穗都比賣命
 譽田別命
 火之迦具土神



村社 神戸神社 村社 神戸神社

大山祇神
 大物主神
 猿田彦神
 五男三女神
 建速須佐之男命
 金山彦命
 市杵島姫命
 宇賀之御魂神
 木花咲耶姫命
 安閑天皇
 蛭子命
 大綿津見神
 拷機千々姫命

一、由緒

當社ハ往古ヨリ現社地ニ鎮座マシ、穴穗神社ト稱セシガ明治四十年十月卅一日許可ヲ受ケ大字上林無格社津島社同境内社金刀比羅社無格社市杵島社ヲ同年十一月二日ニ合祀シ次デ同年十一月十六日許可ヲ受ケ大字下神戶無格社八幡神社同境内社津島神社八幡神社二社ヲ明治四十一年一月四日ニ合祀シ次デ明治四十年十一月廿日許可ヲ受ケ大字上神戶無格社金刀比羅神社同境内社秋葉神社無格社山神社十二社同八柱神社同蛭子社同津島神社二社同金刀比羅神社二社無格社津島神社同境内社稻荷神社無格社金峯神社二社同稻荷神社同八幡神社同市杵島神社二社同稻荷神社同境内社淺間神社ヲ同四十年一月四日ニ合祀シ次デ明治四十年十二月九日許可ヲ受ケ大字下神戶無格社金刀比羅神社二社同市杵島神社同境内社津島神社無格社神明神社同境内社山神社ヲ同四十年一月四日ニ合祀シ次デ明治四十一年四月二十五日許可ヲ受ケ本社境内社兒屋根神社手力雄神社水神社愛宕神社大字比土村社比地神社同境内社八幡社大字古郡村社三十八神社大字栴川村社穗杉神社ヲ同月同日ニ合祀シ神戶神社ト改稱セリ而シテ其ノ大字下神戶無格社神明神

社境内社山神社ハ明治三十八年十二月廿五日許可ヲ得テ同大字内無格社山神社ヲ同三十九年一月三日ニ合祀セシモノ
 其ノ大字上林無格社津島神社ハ明治四十年四月九日許可ヲ得テ同大字内無格社市杵島社同神明社同境内社山神社無格社一宮社同山神社二社同神明社同八幡社二社同石神社ヲ同年五月二十日ニ合祀セシモノ
 其ノ村社三十八所神社ハ明治四十年四月九日許可ヲ得テ同大字内無格社若宮八幡社同山神社六社同金刀比羅社ヲ同年同月十二日ニ合祀セシモノ
 其ノ村社穗杉神社ハ明治四十年十一月八日許可ヲ得テ同大字内無格社津島神社同山神社六社同市杵島神社同太田神社ヲ同年同月十二日ニ合祀セシモノ
 其ノ村社比地神社ハ明治四十年十一月廿九日許可ヲ得テ同大字内無格社龍王社同金刀比羅神社同境内社愛宕社同津島社無格社山神社五社同愛宕社同境内社神明社同津島社無格社杉森社ヲ同年十二月五日ニ合祀セシモノナリ

一、大日靈貴命倭姬命天太玉命ハ大字上神戸字宮本三百十七番地村社穴
 穗神社ノ鎮座ニシテ其ノ由緒明細帳ニ倭姬世記ニ曰御間城入彦五十
 瓊殖天皇六十六年丑十二月朔日遷于伊賀國穴穗宮積四年奉齋爾時伊
 賀國造進籠山神戸並地口御田細鱗取淵築瀨等朝御饌夕御饌供進矣云
 々然後活目入彦五十狹茅天皇即位二年同國敢津美惠宮ニ奉遷ス而レ
 トモ土民猶其神徳ヲ尊重崇敬シテ以テ神戸郷産土神ト奉齋シ今ニ聯
 綿歷然タリ其遺業ノ存スルヤ毎年六月一日ノ神事ニ細鱗ヲ以テ最第
 一ノ御贄トスルコト定例タリ延長伊賀風土記ニ暗崎川出ニ鮎鮎ト見
 エ伊水溫故ニ暗崎川神館ノ川上ヲ言トアリ最モ今ニ至テ此川最上ノ
 鮎ヲ出スナリ猶其他禮典古儀ヲ省略スト雖モ悉准伊勢神宮社殿及華
 表ニ至ル迄二十一ヶ年目造營奉リ況ヤ神戸ノ村號空シカラサルヤ
 トアリ
 而シテ大日靈貴命ハ合祀ニ依リ同神六座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ
 一ハ大字下神戸字宮本二千三百五十七番地無格社八幡神社祭神三座
 ノ中其ノ一ハ同大字字市場無格社神明神社祭神三座ノ中其ノ一ハ大

字比土字東賀柳二千六百七十三番無格社愛宕社境内社神明社其ノ一
 ハ同大字城ノ越百四十七番無格社杉森神社其ノ一ハ大字上林字北裏
 二百三十番無格社神明社其ノ一ハ同大字中原六百五十九番無格社神
 明社ノ鎮座ナリシガ何レモ明細帳ニ由緒不詳トアリ
 一、天手力男命ハ大字上神戸字宮本村社穴穗神社境内社手力雄神社ノ鎮
 座ナリシガ明細帳ニ由緒不詳トアリ
 一、天兒屋根命ハ同上境内社兒屋根神社ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ由緒不
 詳トアリ
 一、彌都波能賣神ハ同神二座ヲ合靈セシモノニシテ其一ハ大字上神戸字
 宮本村社穴穗神社境内社水神社其ノ一ハ大字下神戸字市場無格社神
 明神社祭神二座ノ中ノ鎮座ナリシガ何レモ明細帳ニ由緒不詳トアリ
 一、正哉吾勝々速日天忍穗耳命ハ大字比土字山下六百八十四番村社延喜
 式内比地神社ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ其ノ由緒延喜式第八之卷神祇
 之部ニ伊賀郡十一坐ノ中延喜式内比地神社ト又式社考ニ伊賀國廿五
 社ノ中式内比地神社祭神正哉吾勝々速日天之忍穗耳命トアリ

一、鹿島神ハ大字古郡字北川五百五十六番村社三十八所神社ノ鎮座ナリ
 シガ明細帳ニ由緒不詳トアリ

一、三穗都比賣命ハ大字柝川字狹間六百三十八番村社穗杉神社ノ鎮座ナリ
 リシガ明細帳ニ由緒不詳トアリ

一、譽田別命ハ同神九座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字上神戸字押
 久保千七百二十九番無格社八幡神社其ノ一ハ大字下神戸字宮本二千
 三百五十七番無格社八幡神社祭神三座ノ中其ノ一ハ同社境内社八幡
 神社其ノ一ハ同上八幡神社其ノ一ハ同大字字三石代四番無格社八幡
 神社其ノ一ハ大字上林字中原六百六十二番無格社八幡社其ノ一ハ同
 六百十四番無格社八幡社其ノ一ハ大字古郡字森五百四十七番無格社
 若宮八幡社其ノ一ハ大字比土字山下六百八十四番村社比地神社境内
 社八幡社ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、火之迦具土神ハ同神五座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字上神戸
 字宮本村社穴穗神社境内社愛宕神社其ノ一ハ同大字字中出九百八十
 一番地無格社金刀比羅神社境内社秋葉神社其ノ一ハ大字比土字山下

六百八十番無格社金刀比羅神社境内社愛宕社其ノ一ハ同大字字東賀
 柳二千六百七十三番無格社愛宕社其ノ一ハ大字下神戸字阪田千四百
 四十四番無格社愛宕神社ノ鎮座ナリシガ明細帳ニ何レモ由緒不詳ト
 アリ

一、大山祇神ハ同神三十五座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字上神戸
 字庄田五千十二番無格社山神社其ノ一ハ字中出九百二十番無格社山
 神社其ノ一ハ字我山二千三十九番無格社山神社其ノ一ハ字上庄田五
 千三百三十七番無格社山神社其ノ一ハ字浮田三百八十三番無格社山
 神社其ノ一ハ字高賀千三百三十六番無格社山神社其ノ一ハ字我山千
 九百五十五番無格社山神社其ノ一ハ字押久保千四百九十四番無格社
 山神社其ノ一ハ字半田八百一番無格社山神社其ノ一ハ西臺五百二十
 番無格社山神社其ノ一ハ字出屋敷三千百六十七番無格社山神社其ノ
 一ハ字西臺六百八番無格社山神社其ノ一ハ大字下神戸字市場六百五
 十七番無格社山神社其ノ一ハ字宮本二千三百五十七番無格社八幡神
 社祭神三座ノ中其ノ一ハ字市場無格社神明社境内社山神社其ノ一

ハ大字古郡字北川六百二十番無格社山神社其ノ一ハ同五百五十五番無格社山神社其ノ一ハ同五百七十八番無格社山神社其ノ一ハ字森二百六十二番無格社山神社其ノ一ハ同三百四十九番無格社山神社其ノ一ハ字南山ノ奥八十六番無格社山神社其ノ一ハ大字比土字山下六百九十五番無格社山神社其ノ一ハ字東賀柳二千六百十四番無格社山神社其ノ一ハ同二千六百八十番無格社山神社其ノ一ハ字早山千二百二番無格社山神社其ノ一ハ字山下六百九十八番無格社山神社其ノ一ハ大字上林字北裏二百三十番無格社神明社境内社山神社其ノ一ハ字原ノ前五百三十二番無格社山神社其ノ一ハ字山ノ谷千二百二十九番無格社山神社其ノ一ハ大字柘川字古屋敷二百七十四番無格社山神社其ノ一ハ同二百一十一番無格社山神社其ノ一ハ同二百七十七番無格社山神社其ノ一ハ字狭間五十九番無格社山神社其ノ一ハ同五十六番無格社山神社其ノ一ハ字古屋敷二百七十九番無格社山神社ノ鎮座ナリシガ

〔明細帳〕ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、大物主神ハ同神八座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字古郡字北川

五百五十四番無格社金刀比羅社其ノ一ハ大字比土字山下六百八十番無格社金刀比羅神社其ノ一ハ大字上神戶字中出九百八十一番無格社金刀比羅神社其ノ一ハ字松ヶ谷五千二百六十一番無格社金刀比羅神社其ノ一ハ字大北東千八十九番無格社金刀比羅神社其ノ一ハ大字上林字原ノ前五百八十二番無格社津島神社境内社金刀比羅社ノ鎮座ナリシガ

〔明細帳〕ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、猿田彦神ハ大字柘川字狭間五百七番無格社太田神社ノ鎮座ナリシガ

〔明細帳〕ニ由緒不詳トアリ

一、五男三女神ハ大字上神戶字中出千五十五番無格社八柱神社ノ鎮座ナリシガ

〔明細帳〕ニ由緒不詳トアリ

一、健速須佐之男命ハ同神九座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字柘川字狭間五百九十六番無格社津島神社其ノ一ハ大字比土字山下六百八十番無格社金刀比羅神社境内社津島神社其ノ一ハ字東賀柳二千六百七十三番無格社愛宕社境内社津島神社其ノ一ハ大字上神戶字松ヶ谷五千二百五十九番無格社津島神社其ノ一ハ同大字字出屋敷三千百六

十一番無格社津島神社其ノ一ハ同大字字我山千九百四十七番無格社津島神社其ノ一ハ大字下神戸字宮本二千三百五十七番無格社八幡神社境内社津島神社其ノ一ハ同大字字三石代四番無格社八幡神社境内社津島神社其ノ一ハ大字上林字原ノ前五百八十二番無格社津島神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒不詳トアリ

一金山彦命ハ大字上林字北裏三百八番無格社一宮社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ

一市杵島姫命ハ同神六座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字枅川字古屋敷二百七十八番無格社市杵島神社其ノ一ハ大字上神戸字押久保千四百九十一番無格社市杵島神社其ノ一ハ同大字字我山二千七十四番無格社市杵島神社其ノ一ハ大字下神戸字阪田千六百八十番無格社市杵島神社其ノ一ハ大字上林字出澤千四百五十六番無格社市杵島社其ノ一ハ同大字字中原六百三十七番無格社市杵島神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒不詳トアリ

一字賀之御魂神ハ同神三座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字上神戸字西臺五百七十六番無格社稻荷神社其ノ一ハ同大字字才目谷千九百二十六番無格社稻荷神社其ノ一ハ同大字字我山千九百四十八番無格社津島神社境内社稻荷神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒不詳トアリ

一木花咲耶姫命ハ大字上神戸字才目谷千九百二十六番無格社稻荷神社境内社淺間神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ

一安閑天皇ハ同神二座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字上神戸字半田七百四十一番無格社金峯神社其ノ一ハ同大字字押久保千五百五十八番無格社金峯神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒不詳トアリ

一蛭子命ハ大字上神戸字中出九百四番無格社蛭子社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ

一大綿津見神ハ大字比土字龍王山千六百七十六番無格社龍王神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ

一拷機千々姫命ハ大字上林字山ノ谷千八百八十八番無格社石神社ノ鎮座

一、考 證

○元穴穗神社

〔皇太神宮儀式帳〕 纏向珠城宮御宇活目天皇御世爾倭姬內親王遠爲御杖代齋奉支○中 從美和乃御諸宮發支令出座支○中 次佐々波多宮坐只其爾即大倭國造等神御田並神戶進只次伊賀穴穗宮坐只次阿閉拓殖宮坐只〔皇太神宮儀式帳〕

一、供奉朝大御饌夕大御饌料地祭物本記事

朝夕御饌箕造奉竹原並箕藤黑葛生所三百六十町在伊賀國名張郡亦朝夕御饌仕奉年魚取淵梁作瀬一處亦御栗栖三町在伊賀郡

右之處此伊賀國造等之遠祖奉地注顯如件

〔倭姬命世記〕 六十六年己丑○崇神天皇 遷于同國○賀 穴穗宮積四年奉齋爾時伊賀國造進篋山葛山戶○戶出口延住本作神戶 並地口御田細鱗魚取淵梁作瀬等朝御氣夕御氣供進矣

〔豐受皇太神宮御鎮座本紀〕 明年戊午○雄略天皇廿二年 從丹波國吉佐宮遷幸倭國宇太乃宮御一宿坐次伊賀國穴穗宮御二宿坐于時朝御饌箕造竹原並箕藤黑葛生所三百六十町亦年魚取淵梁作瀬一處亦御栗栖三町國造等貢進仍二所皇太神之朝大御氣夕大御氣之料所爾定給支

〔神宮雜倒集〕神封事

伊賀國伊賀郡神戶

〔神鳳鈔〕 伊賀國神戶百五十町四十五石內宮供祭料白布三般並造酒米米

二石懸力稻田四十束荒砂一段多良牟六箇山五十三丁五反、御饌調備料箕藤黑葛、并三度御祭御費等、雜器料區目檢木、此外芋麻

布紙等○中 穴太御厨兩宮、二丁二名、并亭

〔神領給人引付〕 穴太御園伊賀國六月芋九月粟十二月菓子但加追

〔延喜式〕伊勢太

神田卅六町一段○中

伊賀國伊賀郡二町○中

封戶○中

伊賀國廿戶

〔伊賀記〕 神戸郷 天照太神御假殿之御在所今ノ正殿ハ倭姫之命也

〔伊水温故〕 阿山郡立圖書館寄託本

神館社

上神戸村

號穴穗宮二座也 皇太神一座 倭姫命一座

倭姫世記又曰略中其鎮座ノ地ヲサシテ神館トイフ太神宮十八ヶ所ノ舊跡

ノ一ニシテ神業悉伊勢ニ准スムカシ二座今ハ倭姫一座 本地正觀音

准后記ニ云○前掲伊賀記ヲ云フ、文略宮殿萱葺也萱ハ百草ノ親正直ニ生立ニ依テ用之

伊勢ニ准一郷ニ確ヲ禁ズ攝社二字有 左天兒屋根命 右天太玉命

ムカシノ神宮寺ハ觀勝寺ト號ス 兵範ニ云今ノ宮坊ハ寶光院神應寺古郡常

福寺下

〔三國地誌七十二〕 伊賀郡神祠

穴穗宮

延長風土記曰伊賀郡神戸山御間城入彦五十瓊殖天皇六十六年天照太神

垂跡也

延曆儀式帳 ○文器

惣國風土記曰伊賀郡神戸太神宮圭田五十六束垂仁天皇十八年五月倭比咩命載天照太神之御靈八咫鏡草薙劔寓此地三月許終爲寓宮有神家巫戶等

太神宮諸雜事記曰 ○文略

御鎮座本記 ○文略

按ニ上神戸村ニ坐ス穴穗ノ宮神序カク又作ノ社ト稱ス是也太神宮ナカリ隱市守ノ

宮ヨリ當社ニ遷座夫ヨリ敢拓植宮ニ幸マス 儀式帳云大倭ノ國佐々波多ノ宮ニ坐次ニ當宮ニ坐ス雜事記ニ云從常所伊勢國安濃

藤方ノ宮ニ坐是等不審 今本殿一座 倭姫命 攝社 左天兒屋根命 右太玉ノ命 古昔萱葺ナリ阿波山ニ入テ萱ヲ

刈ノ式アリ近世板葺ニシテ此式ナシ千木片揆アリ豊受神ハ倭ノ國宇

太乃宮 阿紀ノ神社 ヨリ當社ニ宿リ次ニ伊勢鈴鹿ノ神戸ニ遷ラセ玉フ上神戸

下神戸上林ノ三邑俱ニ祭祀ニ預ル慶長元年丙申ノ上梁文アリ 〔刊本頭註〕穴穗神社上

神戸村字宮本ニ在リ社域七百九十五坪大日靈貴命倭姫命天太玉命ヲ祭ル祭日ハ六月一日氏子三百二十九戸ナリ

〔伊賀國誌草稿〕

穴穗神社

伊賀郡上神戸村字宮本ニ在リ境内七百九十五坪大日靈貴尊及ビ倭姫

命天太玉命ヲ合祀ス祭日六月一日九月十八日除社傳ニ曰ク略祭典儀
式一ニ伊勢宗廟ニ准ジ造宮二十年ヲ以テ定限トナス明治六年西月
村社ニ列ス境内攝社一字末社二字氏子三百二十九戸

〔二所太神御遷幸圖說〕

同國穴穗宮四年奉齋

伊賀國伊賀郡上神戸村神館社ト云フニアリ名張町丑寅方一里半東川
南西小山北上神戸村也世記云年魚取淵梁作瀬アルハ東ノ川ナルベシ
止由氣皇太神御遷幸時此宮ニ二宿御坐ス兩宮御遷幸ノ宮誠ニ以テ敬
重シ奉ル所也

〔倭姫命世記講述鈔〕穴穗ノ宮或云名張町ノ東北一里半ニ神戸村神館ノ
社はナリ

〔太神宮儀式解〕穴穗ノ宮ハ伊賀ノ郡上神戸村ニ神館社アリ名張ノ町
ヨリ丑寅ノ方ニアタレリ此ノ神館ハ神席トモ神稅ヲ納メ神政ヲ行フ所ヲ
イヘバ穴穗ノ宮ニ坐シ時ノ神席ノ遺ツルナルベシサラバ穴穗ノ宮モ此
アタリニ連タルヘク全部ニ子良ノ里神風抄伊賀ノ國穴太御厨神領目錄伊賀ノ

國穴太御蘭アヲホ六月辛九月栗十二月果子但此二加進上分米一石近年進之ト
アル此ノ處ナルベシ和名抄伊賀郡安保アホ姓氏錄阿保ノ朝臣云々築宮室於
伊賀阿保村トアリ件ノ阿保トコ、ニイフ穴穗ト訓相似テ同地ナルベシ
トイヘド神風抄ニ穴太御厨阿保神田相並ベ舉タレバ異所ト見エタリ
〔按〕神戸村ニ於ケル穴穗神社ノ地ハ皇太神穴穗宮ノ舊址ニシテ同時ニ
〔神風鈔〕ニ見エタル穴太御厨神領給人引付ニ見エタル穴太御蘭ノ地ナ
リ今ノ神戸村ハ當時伊賀ノ國造ガ献レル神戸ノ地ニシテ〔神宮雜例集〕
ニ伊賀國伊賀神戶廿戸延喜太神宮式ニ封戶伊賀國廿戸ト見ユルモノ
ナリトス而シテ同ジ時ノ献進ニカ、レル○筑笹山○黒葛山ニ神風鈔ノ所
謂太良牟六箇山ニ當リ名張郡ニ屬ス梁作瀬ニ同郡名張町附近ニ在リ
シコト名張ノ舊名ヲ梁瀬ト云ヘルニ徴スベシ
本社ノ東方ヲ流ル、長田川ハ往古ハ暗崎川ト稱シ倭姫命御潔齋ノ古
跡ナリト云フ又當社ノ神事中命ノ遺制ニカ、ルト傳フルモノアリ、其
ノ一ヲ神戸座ヲ幣帛座一ヲ六日座ト云フ、毎年九月十七日、古來例祭ノ
當日鶏鳴ノ刻ニ是ヨリ先暗崎ノ潔齋場ヨリ汲ミ取リシ水ニテ探湯ノ

式ト神和ノ儀アリ、神ト座ニ於テハ神職神和ノ奏止ヲ爲シ幣帛座ニ於テハ丈餘ノ竹ノ十二節ヲ具フル二本ノ幣串ニ祭日ノ幣帛ヲ懸ク、六日座ハ後年倭姫命ヲ合祀セル時ニ初ルト云フ、當社ヲ古來穴穂社若クハ神館太神宮ト稱セルコトハ石燈籠ノ銘及道標等ニ其ノ證アリ、其ノ別當寺ハ境内ノ一隅ニ在リテ昌平山勸勝寺ト稱ス、俗ニ宮坊ト云ヒ社領ノ田地ヲ宮坊田ト云ヘリ、明治ノ初年廢寺トナリテ資財舊記ヲ失フ

○元比地神社

〔伊水溫故〕

高士大明神

比土村

天照太神ヲ祭ル

同村市場之氏社

昔倭姫命太神宮ヲ鎮座トシテ神戸ノ郷神館ニイツキマツリケル時此郷ニ齋宮ヲ造リ奉神供トイフコト勢州渡會ノ社官ノ神書ニ有トイフトモ心得カタシ齋宮ハ倭姫命勢州有多氣宮兩太神宮ヲ祭ル事はハジメナリ

〔三國地誌〕伊賀郡

比地神社

按比地ハ比土ニシテ今比土村ニ坐ス高士明神是ナリ毎年九月廿七日市場里上出ノ三邑祭祀ニ預ル

〔神名帳考證〕伴信友

信友按伊水溫故ニ高瀬神社ヲ比地大明神ト云ヒテ比地村ノ内高瀬ニ在ト云ヘリ比土イカニ唱フルニカ知ラネドヒツチナランカソハトマレ地ト土トハ全義ノ字ナレバカノ比土村ヨシアリゲ也國人ニモ尋ネ考ベキ也

〔大日本史神祇史〕

比地神社今在比土村比地森稱高士明神

〔伊賀國誌草稿〕

比地神社

伊賀郡比土村字比地前ニ在リ境内四百六十八坪創建詳ナラス舊ト軻遇突智命ノ兒大山祇命ヲ祭リ今正哉吾勝勝速日天彥穗耳尊ヲ祭ル祭日九月廿七日延喜ノ時小社ニ列ス天正十四年戊戌六月社殿ヲ新ニシ遷

宮式ヲ行フ札棟明治六年西發月日不詳村社ニ列ス境內末社一字氏子百戶

〔按〕按スルニ伴氏ノ神名帳考證ニ伊水溫故ヲ引テ高瀬神社ヲ比地大明神ト云ヒ云々ト云ヘド此ノ文溫故ニ見エス且高土明神ト高瀬大明神トハ共ニ比土村ニ在ルモ全然別社ナリ伴氏ハ之ヲ混ゼルナリ式内比地神社ニ就テハ伊水溫故出口延經神名帳考證〔神社叢錄〕〔神祇志料〕等ニ舊阿郡都長田村ナル比自山ニ在リトス然レドモ神名帳ノ比地神社ハ伊賀郡十一座中ノ一ニシテ阿拜郡ニアラス〔三國地誌〕以下ニ舊伊賀郡ナル神戸村比土ノ高土明神ヲ以テ之ニ擬スルモノ當レルニ似タリ○阿山郡長田村金刀比羅神社像參照

○元上神戸字押久保金峯神社

〔伊賀名所記〕

藏王權現

文治年中源義經芳野ヨリ勸請ト云々然レドモ信西入道ノ國分ノ内伊賀ノ國郡ノ藏王權現ハ延久三年瑞夢ノ事有テ國司コレヲヨシノヨリウツサル、ヨシミエ待ルサタカニイツレトモツキカタシ

〔伊水溫故〕阿山郡立園書館寄託本

藏王權現

同

村生卒塔婆邊
○上神戸村

此社ハ兩郷西法寺ノ邊上山ト云所ニ有○以下名所記ノ文ヲ引ク

藏王之神跡今天童山ニ有風土記ニ神有藏王權現ト號ス祭ル所ハ天照太神也ト有

〔三國地誌〕

藏王祠並上神戸村

按押久保ノ谷ニアリ源義經和州芳野ヨリ勸請ト云

○元上神戸字我山山神社

〔伊水溫故〕上神戸村和歌山

風土記云和歌山清見原ノ御所有淨見原ト大友皇子トアラソフテ戰ノ地也神有中地明神ト號ス猿田彦ノ垂跡也

〔三國地誌〕 中地明神

按延長風土記ニ和歌山有神號中地明神猿田彦垂跡也今蓮明寺ノ下ニ山神アリ山ニツニシテ此中ヲ通路ス中地ノ稱此ニヨルカ尤古社地ナ

○元上神戸蛭子社、八柱神社

(三國地誌) 惠比須社 八王子社○中略 並上神戸村

○元下神戸八幡神社、市杵島神社

(伊賀記) 神戸八幡 源義仲勸請杉下ノ郷、五百束當家之正記此寺ニ數多入之長井藏是也

(伊水溫故)神宮文庫文

天通山無量壽福寺

下神戸村

佛光坊右馬入道開基シテ律宗ヲ執行ス然所ニ中古聖一國師都東福寺ヲ開場シ和東百丈山ニイタリ此寺ニ通ヒ給フ事多年ナルニ依テ大唐ノ天童山ヲ遷シテ再興ス其時佛心派トナル其以後南都西大寺興正菩薩秀給フニ依テ往昔ニカ、リテ律宗ヲマナフ也伊賀世ノ時節ハ國中ヨリ千石ノ所領ヲ寄附シ一州ノ評議ノ會集所也人皇六十二世村上天皇開地シテ佛光坊承

昔本堂十三間四方護摩堂客殿鐘樓ニ至マテ瓦葺本尊阿彌陀丈六ノ座像

脇士多門天持國天鎮守八幡宮檜皮葺木曾左馬頭源義仲誓願ノタメニ勸請聖一國師二世覺然

(三國地誌)

八幡祠

准后伊賀記○上引

按天童山ノ伽藍神トス

辯天祠並下神戸村

○元古郡三十八所神社、若宮八幡神社

(三國地誌)

三十八所權現祠

按天忍穗耳尊一座ニシテ社號カクノ如シ恐クハ上古天孫降臨ニ扈從スル諸神ヲ配祀スルカ

八幡祠三十八所以下並古郡村

○元上林八幡社

(三國地誌) 八幡祠上林村

○元枅川穗杉神社、津島神社
(三國地誌) 杉明神祠、牛頭天王祠並枅川村

一、建築物

本殿 神明造

拜殿

瑞垣

鳥居

參籠舎

庫

燈籠 十四基

一、境内

千二百一十坪

國有地

附記

位置ハ當村ノ中央平地ニ在リ地形南北ニ長ク東西ニ短ク稍長方形ヲナ

シテ萬頃ノ耕地之ヲ周レル四望鬱然タル一森林中ニ南面ノ御鎮座ナリ
樹木松杉檜等ノ老樹克ク雜木ト共ニ繁茂シ鬱蒼トシテ一見眞ニ古雅ノ
感ニ禁ヘサラシム

一、氏子

四百九十戸

大正三年十二月現在

一、祭日

祈年祭 三月

例祭 十一月

新嘗祭 十一月

古例

一、初魚掛式(ハナシカケ)
(シキ)

一、鷄鳴探湯神招式

一、寶物

征矢 一筋 寛永二乙丑曆八月吉日ノ朱漆ノ銘アリ

神鏡 十面 何レモ十六片菊花御紋章アリ

伊賀局遺物 但櫛笄

鰐口青銅一個

一、基本財産

六分利記名債券 壹千圓

預金 參百圓

田 六反八畝歩

神戸村 神戸神社

(表)

聖主天中天

伽陵頻迦聲

阿我神戸郷中氏子別並一千三百六人

瓦 奉上棟精舎一字穴穗宮大檀那大梵天王大旦那當代實答大空結衆

哀愍衆生者 我等今頂禮

別當平昌山

勸勝寺執行

(裏)

御奉加衆

時之地頭藤堂殿

社人 藤原家神主

奉 鈴 乙 女

大工 藤原大夫

弟子衆五人

慶長元丙申天 秋九月二十四日

講衆 上村分

甚五兵衛門

長四藏

甚助藏

下村分 猪源平治

上林分 奥孫左衛門

茂左衛門

文甚四藏

甚右衛門

甚勝九郎

又三四郎

甚右衛門

甚源七郎

甚三郎

甚善四郎

三郎右衛門

二郎右衛門

新三九郎

甚七郎

甚兵衛

藤兵衛

宗三郎

甚九郎

甚四郎

甚五郎

三郎右衛門

二郎右衛門

四郎太夫

仁左衛門

宗左衛門

又三郎

宗三郎

清源次郎

甚六郎

長二尺三寸五分 巾六寸五分 用材概

(表)

秘密主去何菩提謂如實和自心即是

時之宮坊 阿闍梨 仁 慶

瓦

奉御造宮本地正觀音白木造神戸庄神宮唐氏子一々修繁榮所

開示如來功德寶所文

時之導師 常福寺法印 慶 盛

(裏)

瓦

御奉加衆

藤堂新七郎殿
小嶋傳之介殿
中尾源左衛門殿
山本
鳥海

寛文七天

丁未三月廿日

時大工古山、助

社人衆

細宜 作右衛門

長四尺一寸八分 巾七寸八分 用材楡
裏面人名七十餘人不字明ナラズ
○以上棟札中最古ノモノ、他ハ之ヲ略ス

飛地境内社式内高瀬神社

神戸村大字比土字高瀬代千九百七十二番地鎮座

一、祭 神

- 高瀬神
- 猿田彦神
- 健速須佐男神
- 大物主神
- 火之迦具土神
- 市杵島比賣神

一、由 緒

當社ハ往古ヨリ現社地ニ鎮座マシ、高瀬神社ト稱シ明治四十年十一月二十九日許可ヲ得テ同大字無格社市杵島社同津島社同境内社金比羅社同愛宕社ヲ同年十二月五日ニ合祀シ次テ明治四十一年一月八日許可

ヲ得テ同大字村社藏健社ヲ同年二月六日ニ合祀セリ、大正十年八月廿三日神戸神社飛地境内社トナル

一、高瀬神ハ大字比土字高瀬代千九百七十二番地村社高瀬神社ノ鎮座ニシテ「明細帳」ニ由緒「不詳」トアリ

一、猿田彦神ハ大字比土字前谷二千二百四十一番地村社藏健社ノ鎮座ナリシカ「明細帳」ニ由緒「不詳」トアリ

一、健速須佐男神ハ大字比土字水ヶ谷二千四百七十三番地無格社津島社ノ鎮座ナリシカ「明細帳」ニ由緒「不詳」トアリ

一、大物主神ハ同上津島社境内社、金比羅社ノ鎮座ナリシカ「明細帳」ニ由緒「不詳」トアリ

一、火之迦具土神ハ同上津島社境内社、愛宕社ノ鎮座ナリシカ「明細帳」ニ由緒「不詳」トアリ

一、市杵島比賣神ハ大字比土字水ヶ谷二千五百九番地無格社市杵島社ノ鎮座ナリシカ「明細帳」ニ由緒「不詳」トアリ

一、補遺

明治四年七月村社ニ列セラル

一、考證

(延喜式九) 神名上

伊賀郡十一座 並小

略 高瀬神社

(神名帳考證三) 出口延經

高瀬神社 在高瀬村地志云猿田彦命也、是白鬚同体也、世號鑿取神

(伊水溫故) 阿山郡圖書館本

高瀬大明神

比土高瀬村

延喜式廿五座之一 高瀬社 祭ル所ハ太田命 白鬚同体なり 猿田彦ともいふ世に

號鑿取明神

(三國地志七十二) 伊賀郡神祠

高瀬神社

延長風土記曰伊賀國高瀬里中肥也有神號高瀬大明神所祭太田命也

按比土村ノ小邑高瀬ニ坐ス俗藏鍵明神ト稱ス每九月十九日祭祀ヲナス寛永十年以降ノ上梁文アリ社傳詳ナラズ

〔神名帳考證七〕伴信友

高瀬神社

〔伊考〕比土高瀬邑

〔神祇志料十二〕

高瀬神社カガセ今比土の高瀬村にあり高瀬明神と云

〔大日本史神祇志〕

高瀬神社カガセ今在比土邑支邑高瀬稱鑰取明神

〔伊賀國誌草稿〕

高瀬神社

伊賀郡比土村字高瀬代ニ在リ境内八拾三坪創建詳ナラズ高瀬神ヲ祭ル一説據田彦命祭日九月十九日除一ニ藏鍵神社ト稱ス社記傳ハラズ其詳ヲ知ルナシ延喜ノ時小社ニ列シ明治十二年卯巳十月村社ニ列ス氏子三十戸

〔伊賀國式社考〕高瀬神社在坐比土村屬邑高瀬里人號藏鍵大明神是也

〔按鑰取明神或ハ藏鍵明神ト稱ス比土ノ屬邑高瀬ノ産土神ニシテ即チ伊水濫故以下諸書ノ等シク高瀬神社ニ擬スル所ノモノナリ字高瀬代ナル一社ヲ高瀬神社ニ宛ルノ説ハ伊賀國誌ニ記スル所何ニ據レルヤヲ知ラズ且之ヲ藏鍵明神ト混同セリ蓋明治以後ノ考説ニカ、ルモノ寧口舊説ヲ以テ勝レリトセン

一、建築物

本殿神明造

拜殿

拜所

瑞垣

鳥居

手水舎

燈明五基

一、境 内

參百參拾壹坪

國有地

附記

位置ハ高瀬小場地ノ西北稍々小高キ所ニ在リ老樹社殿ヲ繞リテ蒼然タリ

一、祭 日

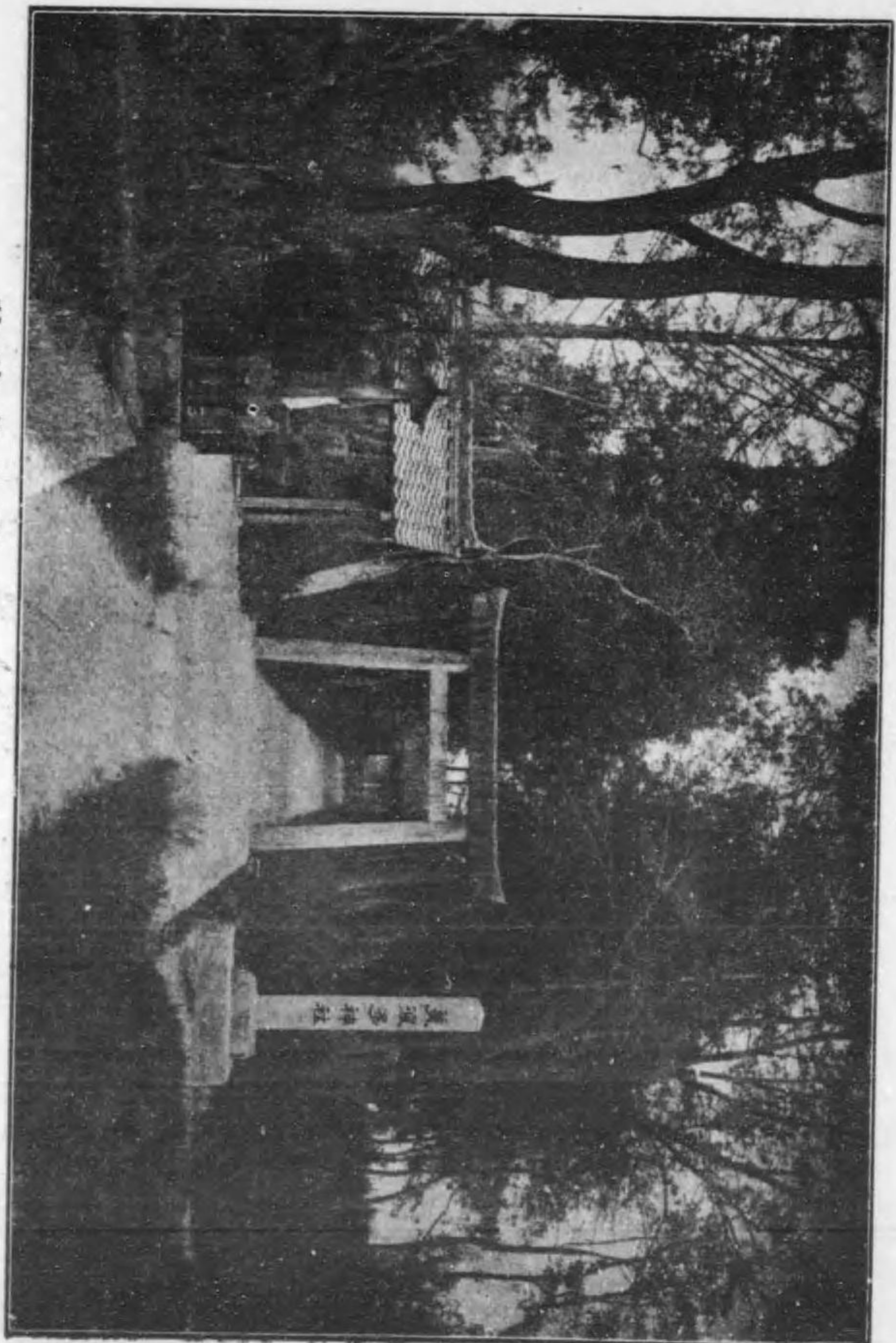
一例祭 十一月二日

名賀郡神戸村神戸神社飛地境内社延喜式内高瀬神社

十二所権現宮建立ト尊從往昔之棟札十二枚年號并人名等之寫

一慶安二丑歲九月 床屋忠三郎隱居次大夫年預二郎大夫與右衛門彌七大工中村藤原掃部甚大夫
 二元祿十六未歲二月 組頭半助年預神主長兵衛七右衛門大工神戶古市場六兵衛
 三明和元年十一月 肝煎佐助年預神主源右衛門武兵衛大工川上村久兵衛
 四文政八酉歲九月 床屋多藏年寄磯次組頭彌左衛門利八總八平吉彌半太孫七
 五寛文七未歲九月 組頭佐助年預仁平治久治郎良善吉大工中村藤原掃部小工同八兵衛
 六享保二酉歲六月 肝煎七右衛門年預神主孫五郎總七郎大工彌平
 七天明七未年三月 肝煎善兵衛村神主佐七佐助組頭伊右衛門大工宮崎惠治郎新田平治柏尾甚助
 八嘉永四亥年九月 庄屋岩名利兵衛年寄磯治組頭彌左工門門平助徳八又兵衛藤八平吉
 九貞享四卯年五月 組頭五右工門年預久右工門大工名無シ 神主源兵衛源治大工阿保伊平
 十延享二丑歲七月 肝煎七右工門年預神主次右工門佐助大工上神戶村木祿房治大夫
 十一文化三寅歲十一月 肝煎善四郎年寄平助組頭孫右工門林八吉六村神主松右工門半三太工羽根村磯平
 十二安政六未歲八月 床屋岩名利兵衛年寄直右工門組頭藤八又兵衛平吾茂八彌左工門平六
 大工羽根村平三郎

長二尺二寸五分 巾六寸—五寸八分 用材楡
○裏面ニヨレバ明治十四年八月再建上葺ノ時舊棟札ニヨリ新ニ之ヲ寫セルガ如シ



社神多波美社村 村多波濃美

村社 美波多神社

名賀郡美濃波多村大字新田字女良塚千八十七番地鎮座

一、祭神

天照大御神
 應神天皇
 天兒屋根命
 加納直盛
 大山祇神
 宇迦能御魂神
 火之迦具土神
 大物主神
 建速須佐之男神
 天手力男之命
 五男三女神

菊理比賣神
大綿津見神
菅原道真
國津大神

一、由緒

當社ハ往古ヨリ現社地ニ鎮座マシク三柱神社ト稱セシガ明治四十年十月二十五日許可ヲ受ケ本社境内社加納神社同山神社及ビ大字新田字水門無格社愛宕神社字一ノ井同山神社字一ノ井同八幡神社同境内社山神社字觀音廣無格社愛宕神社同境内津島神社字女良塚無格社山神社字大間口同愛宕神社字角屋同稻荷神社同境内社愛宕神社字角屋無格社金刀比羅社同境内津島神社字前田無格社山神社字愛宕同愛宕神社同境内津島神社字長尾無格社山神社字黒坊同山神社ヲ同年十一月十日ニ合祀ノ上大御原神社ト改稱シ次デ明治四十二年三月五日許可ヲ受ケ大字東田原村社九頭神社大字中村村社國津神社大字上小波田村社福田神

社ヲ同月十五日ニ合祀ノ上更ニ美波多神社ト改稱セリ而シテ此合祀以前ニ於ケル其ノ福田神社ハ明治四十年十一月四日許可ヲ得テ其社境内社神明社同八柱神社及大字同字鎌井無格社市杵島社字鎌井同津島社字曾田同山神社字赤井同金刀比羅社字赤井同白山社字垣内同山神社字井ノ口同山神社字井ノ口同山神社大字下小波田字中出無格社津島社此津島社ハ明治四十年二月一日許可ヲ得テ同大字字後山無格社海神社字中出同金刀比羅社字南出同山神社二社字松之前同山神社字奥山田同山神社ヲ合祀セシモノヲ同月十日ニ合祀セシモノ
其ノ九頭神社ハ明治四十年十二月二日許可ヲ得テ其ノ社境内社八幡神社同愛宕神社同津島神社同菅原神社同神明社此菅原社及神明社ハ明治三十九年四月四日許可ヲ得テ字大西角ヨリ移轉セシモノナリ大字東田原字界外浦無格社山神社字和田同山神社字界外浦金刀比羅社字菅生谷同津島神社字菅生谷同山神社字北出同山神社字向江同山神社二社字界外浦同市杵島社ヲ同月十日ニ合祀セシモノ其ノ國津神社ハ明治四十年十二月十一日許可ヲ得テ其ノ社境内社津島神社同稻荷社二社大字中村

字向無格社山神社字北西原無格社山神社字田浦同愛宕社字田浦同金刀比羅社字宮ノ前同山神社ヲ同月二十日ニ合祀セシモノナリ

一、天照大御神ハ同神三座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字新田字女良塚千八十七番地村社三柱神社(祭神三座ノ中其ノ一ハ大字上小波田字鎌井村社福田神社境内社神明社其ノ一ハ大字東田原字大西角無格社菅原神社境内社神明社ノ鎮座ナリシガ)明細帳ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、應神天皇ハ同神四座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字新田字女良塚千八十七番地村社三柱神社祭神三座ノ中其ノ一ハ同大字字一ノ井四百八十八番地無格社八幡神社其ノ一ハ大字東田原字大西角二千四百五十四番地無格社菅原神社祭神三座ノ中其ノ一ハ大字東田原字米野村社九頭神社境内社八幡神社ノ鎮座ナリシガ)明細帳ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、天兒屋根命ハ同神二座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字新田字女良塚千八十七番地村社三柱神社祭神三座ノ中其ノ一ハ大字東田原字

大西角二千四百五十四番地無格社菅原神社祭神三座ノ中ナリシガ)明細帳ニ何レモ由緒不詳トアリ

一、加納直盛ハ大字新田字女良塚千八拾七番地村社三柱神社境内社加納神社ノ鎮座ナリシガ)明細帳ニ其ノ由緒享保十六辛酉年勸請加納社ノ義ハ承應年度地方開墾ノ際舊藩士加納直盛通稱藤左衛門開墾事業ヲ起シ遠隔ニ水源ヲ探リ洩テ地ニ灌漑シ或ハ自己ノ俸給ヲ居農ニ分與シ以テ稻耕ヲ勵マシ漸ク播殖連綿ノ地トナシ今茲ニ編籍百七十餘戸ニ及ベリ尤モ之レ加納直盛ノ奮起ニ因ル以所也故ニ其靈ヲ慰シ産神ノ例ニ一小社ヲ設ケ年々曆々敬神愛慕シ祭祀不懈勤メ來リ候也トアリ

一、大山祇神ハ同神二十四座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字新田字女良塚一〇八七番地村社三柱神社境内社山神社其ノ一ハ字一ノ井四八七番地無格社山神社其ノ一ハ字一ノ井四八八番地無格社八幡神社境内社其ノ一ハ字女良塚九六七番地無格社山神社其ノ一ハ字前田二二三番地無格社山神社其ノ一ハ字長尾二六〇八番地無格社山神社其ノ一ハ字黒坊二六四五番地無格社山神社其ノ一ハ大字東田原字界

外浦四六二番地無格社山神社其ノ一ハ字和田二六九番地無格社山神社其ノ一ハ字菅生谷九八四番地無格社山神社其ノ一ハ字北出一一三〇番地無格社山神社其ノ一ハ字向江二〇九〇番地無格社山神社其ノ一ハ字向江二一三一番地無格社山神社其ノ一ハ大字中村字宮ノ前八四番地無格社山神社其ノ一ハ字向九四九番地無格社山神社其ノ一ハ字北西原二七八八番地無格社山神社其ノ一ハ大字上小波田字曾田六〇九番地無格社山神社其ノ一ハ字垣内八九六番地無格社山神社其ノ一ハ字井ノ口一五四番地無格社山神社其ノ一ハ字井ノ口一二二番地無格社山神社其ノ一ハ大字下小波田字奥山田七五番地無格社山神社其ノ一ハ字南出一九七番地無格社山神社其ノ一ハ字南出二二番地無格社山神社其ノ一ハ字松ノ前六八〇番地無格社山神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒不詳トアリ

一 宇迦能御魂神ハ同神三座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一座ハ大字新田字角屋一五七八番地ノ二無格社稻荷神社其ノ二座ハ大字中村字宮ノ前六五一番地村社國津神社境内社稻荷神社二社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒不詳トアリ

帳ニ何レモ由緒不詳トアリ

一 火之迦具土神ハ同神七座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ新田字水門一番地無格社愛宕神社其ノ一ハ字觀音廣九五〇番地無格社愛宕神社其ノ一ハ字大間口一三一六番地無格社愛宕神社其ノ一ハ字角屋一五七八番地無格社稻荷神社境内社愛宕神社其ノ一ハ字愛宕二三一七番地無格社愛宕神社其ノ一ハ大字中村字田浦一六三三番地無格社愛宕社其ノ一ハ大字東田原村社九頭神社境内社愛宕神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒不詳トアリ

一 大物主神ハ同神六座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字上小波田字鎌井一七二番地村社福田神社其ノ一ハ大字新田字角屋一五九〇番地無格社金刀比羅社其ノ一ハ大字東田原字界外浦五六四番地無格社金刀比羅社其ノ一ハ大字中村字田浦一七三五番地無格社金刀比羅社其ノ一ハ大字上小波田字赤井六四一番地無格社金刀比羅社其ノ一ハ大字下小波田字中出三三五番地無格社金刀比羅社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ由緒不詳トアリ

- 一 建速須佐之男命ハ同神八座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字新田字角屋一五九〇番地無格社金刀比羅社境内社津島神社其ノ一ハ字觀音廣九五〇番地無格社愛宕神社境内社津島神社其ノ一ハ字愛宕二三一七番地無格社愛宕神社境内社津島神社其ノ一ハ大字東田原字菅生谷九六二番地無格社津島神社其ノ一ハ字米野一三六九番地九頭神社境内社津島神社其ノ一ハ大字中村字宮ノ前六五一番地村社國津神社境内社津島神社其ノ一ハ大字上小波田字鎌井二四三番地無格社津島社其ノ一ハ大字下波田字中出無格社津島社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ不詳トアリ
- 一 天手力男神ハ大字東田原字米野一三六九番地村社九頭神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ
- 一 五男三女神ハ大字上小波田字鎌井一七二番地村社福田神社境内社八柱神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ
- 一 菊理比賣神ハ大字上小波田字赤井七二二番地無格社白山社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ

- 一 大綿津見神ハ大字下小波田字後山一四六三番地無格社海神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ
- 一 菅原道真ハ大字東田原字大西角二四五四番地無格社菅原神社ノ鎮座(祭神三座ノ中)ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ
- 一 市杵島比賣命ハ同神二座ヲ合靈セシモノニシテ其ノ一ハ大字上小波田鎌井一八八番地無格社市杵島社其ノ一ハ大字東田原字界外浦無格社市杵島社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ何レモ不詳トアリ
- 一 國津大神ハ大字中村字宮之前六五一番地村社國津神社ノ鎮座ナリシガ[明細帳]ニ由緒不詳トアリ

一、補遺

明治四年七月村社ニ列セラレ同三十九年十二月三重縣告示第三百八十八號ヲ以テ神饌幣帛料供進指定神社トナレリ

一、考證

○元新田三柱神社、八幡神社

(伊水溫故)阿山郡立圖書館本

榮松山神光寺

同 村○新田

本尊釋迦多寶

法花宗

上ノ上行寺下

鎮守天照春日八幡

號三社明神

(三國地誌)伊賀郡神祠

太神宮相殿春日八幡

若宮並新田村

(按伊水溫故所謂ノ三社明神、三國地誌所謂ノ太神宮ナルモノ三柱神社

ナリ又若宮ハ即チ八幡神社ヲ指スナルベシ

○元新田加納神社

(伊賀國誌草稿)神社寺院

無格

加納神社

伊賀郡新田村字女良塚三柱神社境内ニ在リ境内享保十六地亥十一月

之ヲ創建シ、加納直盛ヲ祭ル、祭日十二月九日直盛藤堂氏ノ臣ナリ、藤右

衛ト稱ス尤農事ニ精シ、承應三年甲午大ニ美濃原ノ地ヲ開キ、水ヲ高尾山ニ取リ以テ灌溉ニ供シ、或ハ岩石ヲ鑿チ、又堤防ヲ築キ、遂ニ一村ヲナス、新田村乃ハチ是ナリ、後故アリ罪ヲ得テ死ス、土人其德ヲ慕ヒ、祭テ神トナス、來詣スルモノ常ニ絶ヘズ

(加納神君御傳記)

美波神社の相殿に座す加納大神は即ち我三重縣名賀郡美濃波多村なる大字新田を開きたまひし加納直盛君の英靈なり君諱は直盛通稱は藤左衛門と云ふ其先は贈正一位太政大臣菅原道真公の第五男正五位下文章博士菅原惇茂朝臣の遠裔加納肥前守直虎公に出づ直虎公は近江國坂田郡加納村に居り因りて以て氏となす壹萬五千石の領主たり其後直則直長の二世を経て直成公に至り文祿中藤堂和泉ノ守高虎公に仕へ朝鮮役並關ヶ原大阪等の役に從ひて内外の殊功あり祿二千石を受けて伊豫國今治に住したりしが高虎の移封に從ひて伊賀國上野に徙り奉行となりて夙に名聲あり君は實に其長子たり慶長十七年を以つて伊賀上野に生れたまひ寛永五年御年十九甫めて召し出されて

江戸にあり勳功によりて祿三百石を給せられ又虎皮鞍覆羅沙羽織等の賜あり同十三年六月父直成卒す神君乃ち蔭を以つて祿職を襲ひ奉行となりて壹千三百石を領し給ひしが後加増せられて壹千八百石を食み給へり君初め彌兵衛と稱し家を承けて藤左衛門と襲稱し別に潜龍と號す(以上加納家系譜に因る)君天性慈仁にして識量あり平生國利民福を興すを以つて志となし新田の開墾に於て最も其心力を盡したまへり抑も新田は往昔美濃原(又御野原に作る)と稱へし原野なりしが君適々此處に巡檢して甚しく其荒蕪を惜みたまひ之が開墾を計り給ひき承應三年九月藩許を受け家祿を擲ちて工費に充て多く役夫を募り躬身から番鋪を執りて之に先ちたまひければ工事頓に進み此歲既に數十町歩は開墾せられぬ明暦元年正月水源を南方小波田の山中に得て其處に六十間の堤を築き池を鑿ちて水を貯ふ之を大池と云ふ又これより五十町余の水路を通して新田に導く之を小波田井溝と稱ふ其工事共に容易ならざりしが君の督勵宜しきを得たれば數月を経て全く成り同年五十餘町の植付を見るに至れり此時民家も亦百戸に垂

なむとして漸く村里の形となし初めて新田村と稱へたり(新田は舊獨立村なりしが明治二十二年町村制により上波田下小波田中村東田原の四村と合併し美濃波多村となれり)同三年夏早魃の害ありて里民甚苦しむ君事業の屈退せんことを憂ひ百方之を救護し且勸奨したまひ萬治三年八月に至り開墾の段別百五十餘町となり事業略整頓したるを以て境界を正し以て里民に分配したまひたり開墾創始より茲に七箇年神君の苦心經營實に思ふべきなり然るに猶謂ひたまはく曩に大池を鑿ち水路を通したれども田野の開くるに従ひ灌漑必ず缺乏すべく且天災も亦圖り知るべからざれば即ち宜しく外に完全なる水源を得て之に備へざるべからずと寛文の初年更に遠く高尾山より大水路を通したまへり抑も高尾山は新田の東南貳里餘を隔て其間山岳相疊り水極めて難澁なりしが種々工夫を凝したまひ夜間數十人をして炬火を携へ指揮に應じて山岳の間に進退せしめ之を標準として以つて線路の高低曲直を測量し然る後絶壁には數十尺の巨槌を架し低地には數十間の高提を築く等至難の工事を施して三里二十町餘の水路を

開通し幸に新田に達することを得たり其水量の充足すること實に小波田井溝に數倍せり之を高尾井溝と稱ふかくて大工事は既に成りしが後世分水の爭論を防かんが爲め井溝の各所に一定の水門數百を設けし反別に因りて時間を限り以つて遠近均しく灌漑して猥りに増減することを得ざる法規を立て分水戸帳を傳へて永久之に由らしめられたり是に於て君の偉功彌々著しく老若男女皆其恩澤を感喜せざるなしかくて逐年地味漸く熟し收穫稍増加するや寛文三年秋君里民に命じ始めて貢米百三十餘苞を薄府に上納せしめ併せて開墾の成功を告げたまひければ藩主は君が積年の盡力果して能く國家の福利を興したりとて其大功を褒賞し祿五百石を加増せられぬ君の名聲今や天下に遍し爾後君は専ら里民を撫育し産業の盛興を謀りたまひしが不幸にして一朝病に罹り終に起つ能はず其危篤なるに及びて同僚中路五郎左工門といへる人來訪して遺言を求めければ君は枕を敬て懇に托して曰く我幼時より國恩を受けしことは山海も雷ならず其萬一を酬いむと欲して美濃原の開墾を企て二十年來心力を勞して開墾畿

に寸功を奏したれども里民休養の道に於て尙未だ盡さざる所あるは實に遺憾の限なり我死するの後新田に居住するものは現時の小成に安せず將來の大成功を謀り益々忠君愛國の志氣を舊ひ殖産興業の道を勉めて夙夜怠るべからず是れ我切望してやまざる所幸に此旨里民を首とし農庶一度に傳へられよと遂に瞑目したまひぬ時に延寶元年十二月九日享年六十四なりき里民之を聞きて皆感泣し其死を愛惜すると赤子の父母を慕ふに異ならず尊骸は之を上野寺町大善退誓寺に厚く葬り佛氏正雲院殿潜龍大居士と諡す同三年の夏霖雨ありて小波田なる大池の提防懐崩し其水路も塞がりければ里民は一時其變災に驚きたれども高尾井溝の堅固にして潤澤餘あるに安堵し彌々君の先見明智に服したりと云ふ君の歿後里民は建社報恩之事を藩主に請願せしに藩主素より君の遺勳を追慕せられければ直に之を許されたり乃ち享保十六年十一月一祠を字女臚塚に建設し氏神の末社として其英靈を奉齋し加納神社と尊稱せり年々に之れが祭札を怠らざりしが明治四十二年三月一村の各社を一社に合祀するに當り今の美波多神

社に遷し奉るに至りぬ嗚呼君は眞に博愛慈仁の心を以て國利民福を謀れるもの新田開墾の事を擧ぐるや一身を犠牲に供し家祿を擲ち工費を支へ千辛萬苦經營督勵し半途旱害に遇ひたれども毫も其志を屈せずして大事を遂げ猶且高尾井溝を開きて以つて天災に備へ一定の水戸を設けて水論を防ぎ且死に臨みて衆庶に遺諭するに忠君愛國殖産興事の事を以つてしたまへるが如き一として深謀遠慮に出でざるはなく其徳化の盛なる其勳功の大なる後人をして欽崇景仰に勝へさらしむ宜なる哉其子孫積善の餘慶を享けて昌なるや實に伊勢國久居町加納均君は其後裔なりと云ふ而して君が開墾せられし地は今や民屋東西に連り沃土南方に開けて農工商の盛なること郡内屈指の處たり其戸數は壹百七拾餘其人口は九百に及ひ田圃の反別は貳百拾餘町にして地價六萬餘圓其負擔の公課金は四千有餘圓を算するに至れり之を其當時荒蕪の原野にして寸田の耕作すべきもなく一民の住居するもの無きの時に比すれば其進歩實に驚くに堪へたり是れ皆神君の遺恩餘澤に頼らずんばあらず嗚呼君の遺恩餘澤は獨り新田住民の夙

夜護るべからざるのみならず其功績は國家萬代の龜鑑と謂ふべきなり

○元東田原九頭神社菅原神社

(三國地誌) 伊賀郡神祠

九頭明神祠 天滿祠 並東田原村

(伊水溫故) 阿山郡立圖書館本

廿上大明神

此神跡を不知地祇を誤たると覺へたり天滿神相殿二座也

○元東田原八幡神社

(伊水溫故) 阿山郡立圖書館本

林泉山長樂寺

東田原村

院號樂師院

同前 ○密宗

同前 ○古郡常福寺下

本尊藥師 安附彌作

鎮字八幡

○元中村國津神社

〔伊水溫故〕神宮文庫本

國津大明神

中村

當郷の氏社なり愚案するに國津とは瓊々杵尊か

〔伊水溫故〕阿山郡立圖書館本

國津上大明神

中村

地祇と書正躰は大己貴命也素盞鳴御子也

〔三國地誌〕伊賀郡神祠

國津明神祠相殿二座春日神愛宕神○中村

○元上小波田福田神社同境内社神明社八柱神社上小波田白山社

〔三國地誌〕伊賀郡神祠

福田明神末社三神明八王子

白山祠並上小波田村

〔伊水溫故〕阿山郡立圖書館本

五社明神

小波田村

春日五座 鹿島香取牧岡伊勢押雲命也

當社は上下の小波田兩村の氏社祭は九月九日

〔按〕伊水溫故所謂五社明神即福田神社ナルベシ

○元下小波田海神社

〔三國地誌〕伊賀郡神祠

龍王祠下小波田村

一、建築物

本殿神明造

御門

瑞垣

神庫

鳥居

井戸舎

神樂殿

參籠舎

竈戸舎